

# 札幌市まちづくり戦略ビジョン

## <ビジョン編>

骨子版

平成24年10月9日



# 目 次

## 第1部 ビジョン編

---

### 第1章 はじめに

1	ビジョン策定の背景	9
2	ビジョン策定の趣旨	10
3	ビジョンの基本的な考え方	11
4	ビジョンの計画期間と目標年次	11
5	ビジョンと他の札幌市の計画との関係	11

### 第2章 社会経済情勢の変化と札幌

第1節	札幌を取り巻く社会経済情勢の変化	12
1	人口の将来見通し	12
(1)	札幌市の人口	12
(2)	北海道の人口	12
2	人口減少・超高齢社会を迎える札幌	14
(1)	地域・暮らしへの影響	14
(2)	生産年齢人口の減少による経済規模の縮小	16
3	グローバル化の進展	19
4	地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化	21
第2節	札幌や北海道の魅力・資源	24
1	札幌の魅力・強み	24
(1)	豊かな自然環境	24
(2)	少ない自然災害	25
(3)	札幌に集積する都市機能	25
(4)	札幌らしい文化、ライフスタイル	25
2	郷土意識と外から見た評価	27
(1)	市民の愛着	27
(2)	外から見た札幌のブランドイメージ	27
3	未来を切り開くために活用すべき北海道の資源	29

### 第3章 私たちが目指す札幌市の将来

目指すべき都市像	31
----------	----

## 第4章 まちづくりの基本目標

第1節 地域	～つながりと支え合い～	34
基本目標1	共生と交流により人と人がつながるまちにします	35
基本目標2	さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします	36
基本目標3	地域のまちづくり活動が活発なまちにします	37
第2節 経済	～暮らしと雇用を支える～	38
基本目標4	強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします	39
基本目標5	さまざまな連携により産業が高度化するまちにします	40
基本目標6	市民の雇用が安定的に確保されるまちにします	41
基本目標7	強みを生かしグローバル化に対応するまちにします	42
基本目標8	地域コミュニティを支える産業を大事にするまちにします	43
第3節 子ども・若者	～健やかな育み～	44
基本目標9	安心して子どもを生き育てられるまちにします	45
基本目標10	将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします	46
基本目標11	若者が社会的に自立し、活躍できるまちにします	47
第4節 安全・安心	～人に優しいまち～	48
基本目標12	誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします	49
基本目標13	地域防災力が高い災害に強いまちにします	50
基本目標14	安全な日常生活が送れるまちにします	51
第5節 環境	～次代へ引き継ぐ～	52
基本目標15	水やみどりを守り、育むまちにします	53
基本目標16	資源やエネルギーを有効活用するまちにします	54
基本目標17	市民が環境について学び、行動するまちにします	55
第6節 文化	～創造性を育む～	56
基本目標18	創造的な活動により活力あふれるまちにします	57
基本目標19	文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします	58
基本目標20	市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします	59
第7節 都市空間	～魅力と活力のある都市空間～	60
基本目標21	公共交通を中心とした集約型のまちにします	61
基本目標22	さまざまな活動を支える魅力的で活力のあるまちにします	62
基本目標23	札幌の顔となる魅力あふれる都心にします	63
基本目標24	市民の生活を支える都市基盤などが、適切に維持保全されるまちにします	64

第5章	ビジョンの推進に当たって	
第1節	基本理念	65
第2節	ビジョンの推進に当たっての基本姿勢	65
1	市民が主役のまちづくり	65
2	まちの活力を高める人づくり	66
3	北海道と共に発展する札幌	66
4	限りある資源の有効活用と共創	67
第3節	ビジョンの戦略的推進	67



# 第1部

## ビジョン編



# 第1章 はじめに

## 1 ビジョン策定の背景

- 札幌は、明治2年(1869年)に設置された開拓使により、札幌本府の建設が開始されて以来、豊かな風土と自然環境の中、先人たちのたゆまぬ努力により、市民の豊かな生活、札幌固有の都市文化を育みながら、飛躍的に発展

### <黎明期>

- 大正11年(1922年)に市制が施行され、道路や市営電車事業による交通体系、上下水道など、都市基盤が順次整備
- 人口は増え続け、昭和15年(1940年)には函館市を抜いて北海道一の都市となるなど、今日の札幌の骨格が形成

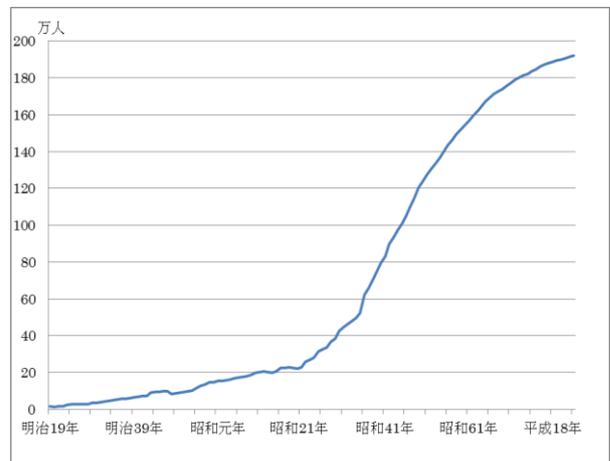
### <成長期>

- 第二次世界大戦後から昭和40年(1965年)代前半までは、国において行政事務の効率化を目的とした市町村の合併が促進され、札幌においても、周辺町村との合併により人口は増加、市域も拡大
- 道内からの流入により飛躍的に人口が増加し、これらに対応した市街地や都心部の整備が進むなど、人口100万人を擁する大都市へと発展

### <躍動期>

- 昭和47年(1972年)、アジアで初めて開催された冬季オリンピック大会を契機として、地下街や地下鉄南北線などの都市基盤が整備され、市民の生活が大きく変わり、まちの様相が一変
- 政令指定都市に移行した札幌市では、区役所を中心とした行政体制が充実
- 昭和60年(1985年)頃までの間に、上下水道の普及率や道路の舗装率は共に90%を超えるなど基礎的な都市基盤が整備
- 札幌市が大きく躍動したこの時期には、姉妹都市提携を結んだポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市、ノボシビルスク市との文化、スポーツ、教育、経済等の幅広い分野での交流が行われるなど、躍動する国際都市へと発展

札幌市の人口の推移(明治19年~平成23年)



<資料>札幌市

### <成熟期>

- 市民の生活意識や価値観が多様化し、暮らしの中に潤いやゆとりといった心の豊かさを求めるようになる中、市民の関心は、生活基盤の充足から文化芸術など生活の質の向上へと変化

- 札幌芸術の森、札幌コンサートホール Kitara、札幌ドームが相次いで整備。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）やサッカー・野球等のプロスポーツチームが根付くなど、市民が文化や芸術、スポーツを身近に楽しむ環境が充実し、文化の香る国際都市へとさらに発展

### ＜新たな時代～未来へ～＞

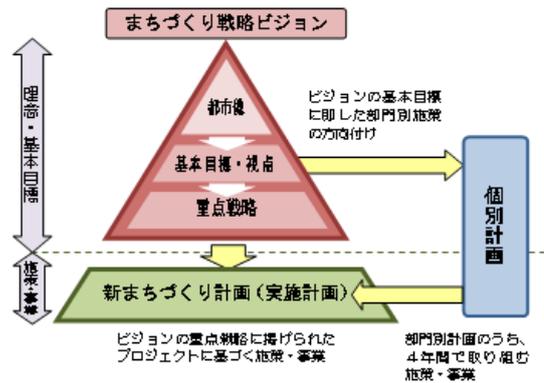
- 今、札幌は、大きな転換期を迎える
- これまで増加の一途をたどっていた札幌市の人口は、近い将来、少子化を背景として、市制施行後初めて減少に転じる見込み。また、かつて経験したことのない超高齢社会を迎える。さらに、生産年齢人口の減少により、経済規模の縮小が懸念
- 地球規模での環境問題が深刻化する中、私たちは、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災という未曾有の災害を目の当たりにし、防災に対する心構えや、地域における支え合いなどの重要性をあらためて認識
- さらに、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、原子力が決して安全で安定的なエネルギーではないことも認識
- 「右肩上がりの時代」が終わりを告げ、エネルギーもこれまでのように使い続けることができなくなる中、「新たな創生期」と呼ぶべき時代を迎えるために、今、私たちの価値観は変わろうとしている

## 2 ビジョン策定の趣旨

- 札幌市では、平成 32 年（2020 年）を目標年次とする「札幌市基本構想」（平成 10 年議決）と「第 4 次札幌市長期総合計画」（平成 12 年策定）に基づき、計画的にまちづくりを推進
- 少子化による人口減少の進行、札幌・北海道経済の長期にわたる低迷、福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、札幌を取り巻く社会経済情勢が、前回の計画策定時の想定を超えて、大きく変化
- 国は、明治以来の中央集権による画一的な地域づくりから脱却し、地域のことは地域の住民が責任を持って決める「地域主権型社会」の実現に向けた取り組みを推進。札幌市でも、「自分たちの地域のことは、自分たちで考え、決め、そして行動する」という理念の下、私たちのまちを私たちの手で築いていくために、平成 18 年に「札幌市自治基本条例」を制定し、市民が主役のまちづくりを推進。まちづくりの基本的な考え方が大きく変化
- 「札幌市まちづくり戦略ビジョン（以下、「ビジョン」という）」は、こうした状況の中、私たちが目指すべきまちの姿と共有すべきまちづくりの方向性を明らかにするものとして策定

### 3 ビジョンの位置づけ

- ビジョンは、これまでの基本構想と第4次長期総合計画に代わる新たなまちづくりの基本的な指針となる総合計画
- 札幌市のまちづくりの計画体系では、最上位の計画に位置付け
- ビジョンにおける基本的な考え方に基づく個々の施策・事業の展開に当たって、札幌市は中期の実施計画を策定し、効果的で着実な実行を図る
- ビジョンは、まちづくりの幅広い分野にわたり長期的な視点で策定した計画であり、市政運営の基本的な指針であることから、各分野におけるさまざまな個別計画は、ビジョンの基本的な方向に沿って策定、推進



### 4 ビジョンの計画期間と目標年次

- 計画期間は平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間。目標年次は平成 35 年

### 5 ビジョンの特色

#### <市民と共有できるビジョン>

- 市民自治を実感できるまちを目指すため、これまでの行政計画をあらため、市民計画へと転換。広く市民の参加を得ながら共に作り上げることにより、市民と共有

#### <ビジョン編と戦略編>

- 私たちが一体となってまちづくりを進めるために目指すべき市民計画としての「ビジョン編」と、ビジョン編の考え方に基づいて主に行政が優先的・集中的に行うことを記載した「戦略編」の2部構成

#### <実施型から未来実現型への転換>

- 行政が実施することを記載していたこれまでの長期総合計画から転換し、10年後の未来に実現を目指すまちの姿を示し、市民と行政が一体となって取り組むまちづくりの方向性を提示

#### <役割分担の明確化>

- 市民、行政が一体となってまちづくりに取り組み、目指すべきまちの姿を実現するため、それぞれの役割分担を明確化

## 第2章 社会経済情勢の変化と札幌

- 人口減少・超高齢社会は、私たちの暮らしにさまざまな影響
- グローバル化の進展は、ヒトやモノが容易に国境を越えることを可能にし、世界の経済動向が、地域の経済や雇用に直接的な影響
- 環境・エネルギー問題では、原発事故をきっかけとして、私たちのライフスタイルやエネルギーに対する考え方に大きな影響
- これらのような変化を的確に捉え、自らの強みを生かしながら、道筋を定めていくことが、今後のまちづくりには必要
- この章では、札幌を取り巻く変化から生じる課題や、今後の取り組みの方向性を示すとともに、その中で生かしていくべき札幌や北海道の魅力・資源を明記

### 第1節 札幌を取り巻く社会経済情勢の変化

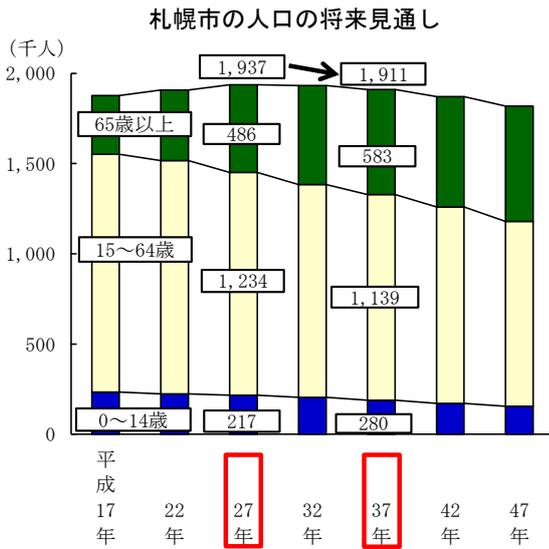
#### 1 人口の将来見通し

##### (1) 札幌市の人口

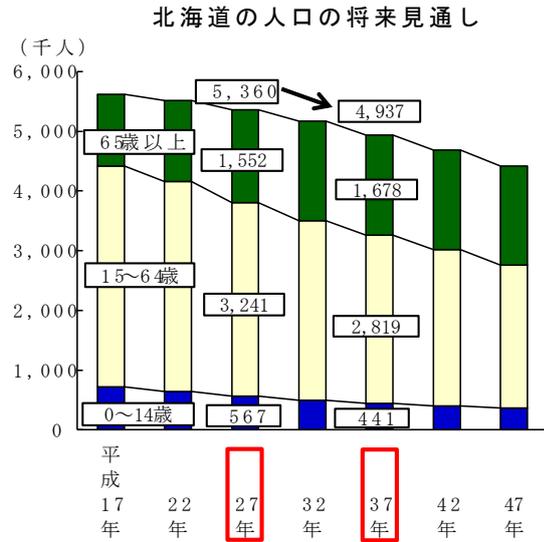
- 札幌市の総人口は一貫して増加傾向であったが、平成27年前後をピークに減少傾向に転じる見込み。平成27年から平成37年の10年間で、193万7千人から191万1千人に減少（1.3%減少）
- 高齢化率は、25.1%から30.5%へと上昇

##### (2) 北海道の人口

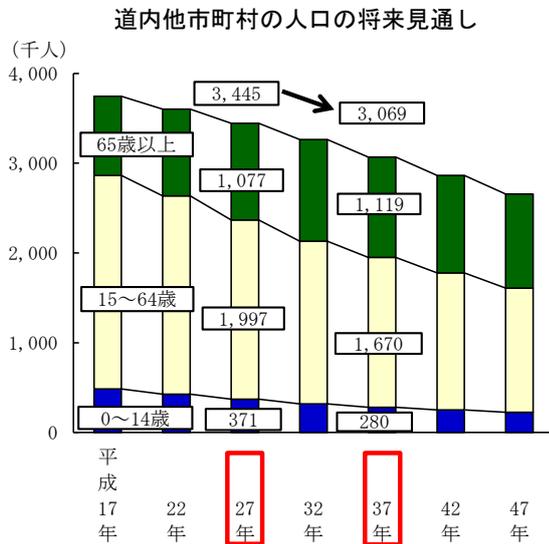
- 北海道の人口は既に減少傾向。平成27年から平成37年の10年間で、536万人から493万7千人に減少（7.9%減少）。そのうち、札幌市を除く道内市町村の総人口は、344万5千人から306万9千人に減少（10.9%減少）
- 高齢化率は、29.0%から34.0%へと上昇。（札幌市を除いた道内市町村の場合、31.3%→36.5%）



<資料> 札幌市、総務省「国勢調査」



<資料> 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」



<資料> 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」

## 2 人口減少・超高齢社会を迎える札幌

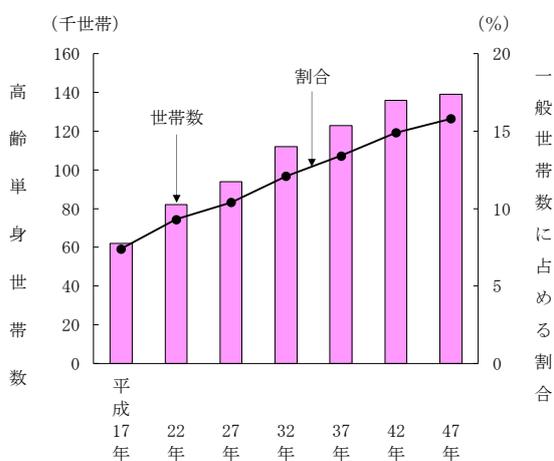
### (1) 地域・暮らしへの影響

#### ① 高齢化

##### <現状・課題>

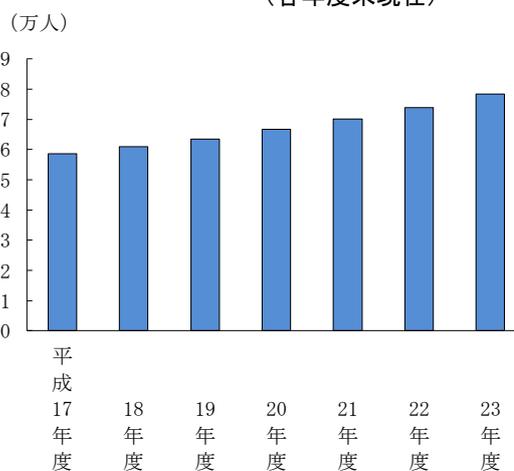
- 札幌の人口が減少する局面に入っても、高齢者の人数は大幅に増加
- 高齢化の進行を背景として、支援や見守りが必要な障がい者や要介護者が増加
- 高齢単身世帯数は増加傾向が続き、平成37年には概ね8世帯に1世帯が高齢単身世帯となる見込み
- 地域コミュニティの中核を担っている町内会・自治会の加入率は、年々低下

高齢単身世帯数及び一般世帯数に占める割合の将来見通し



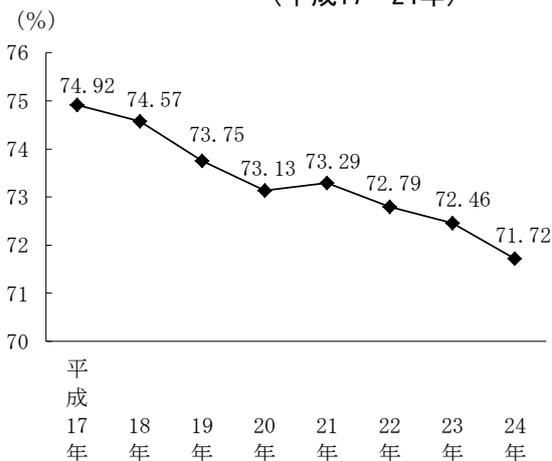
<資料> 札幌市、総務省「国勢調査」

要介護（要支援）認定者数の推移（各年度末現在）



<資料> 札幌市

町内会・自治会の加入率の推移（平成17～24年）



<資料> 札幌市

- 国では平成24年に新たな高齢社会対策大綱を策定。これまでの「人生65年時代」から「人生90年時代」への転換など、今後の高齢社会の方向性を大きく見直し。65歳という年齢一律による要支援者という概念を変えていくことや、社会保障制度における自助・共助・公助のバランスの最適化など、基本的な考え方が提示

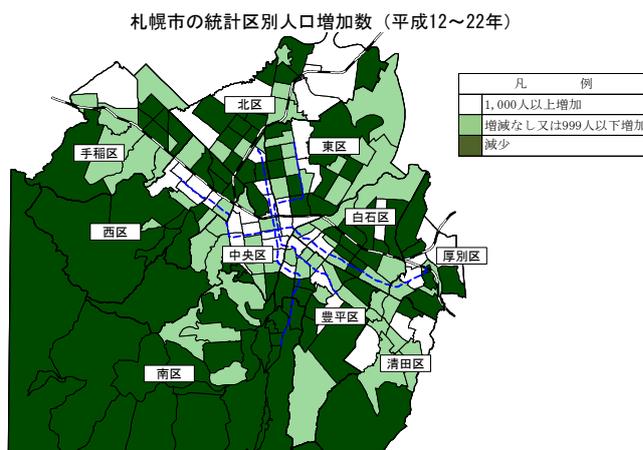
### <取り組みの方向性>

- 高齢者の社会的孤立や孤独死を未然に防ぐため、身近な地域の住民同士のつながりの維持・強化が必要
- 特に、町内会・自治会の更なる活性化、新たなつながりを生み出すコミュニティの形成が重要
- 年齢など一律の基準ではなく、個々の状況に応じたサービスの提供などの検討が必要
- 元気な高齢者は、地域社会を支える重要な一員として、健康を保ちながら、地域で活躍していくことが期待

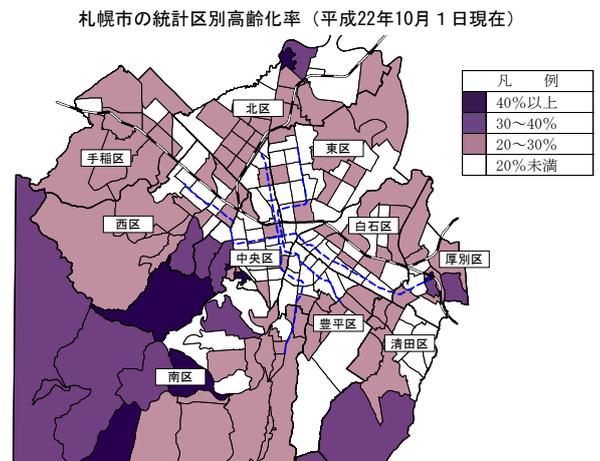
### ② 地域によって異なる人口推移

#### <現状・課題>

- これまでの人口増加基調にあっても、古くに開発された郊外の大規模な住宅団地のほか、地下鉄やJR沿線においても、既に人口減少が始まっている地域が一部にある。
- 郊外の大規模な住宅団地では、若い世代の流出による高齢化が進行。一方で、マンションの立地が活発な地域や新しく開発された郊外の住宅地などでは、若い世代の流入が比較的多く、人口が増加し、高齢化率が低位
- このように、札幌市内の人口動態や年齢構成の状況は、地域によって多様



<資料> 札幌市「国勢調査」



注：65歳以上の人口の割合。  
<資料> 札幌市「国勢調査」

＜取り組みの方向性＞

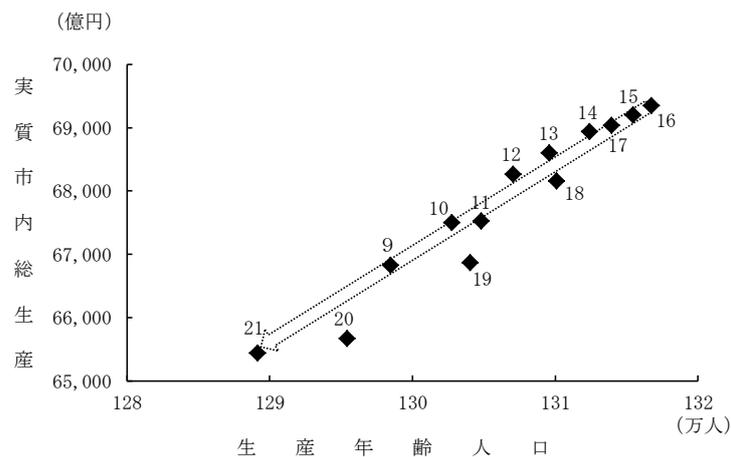
- 地域力の維持・向上には、地域の状況や特性に応じ、きめ細やかにまちづくりを進めることが重要
- 町内会・自治会の活性化とともに、近年増加しているNPOなど多様な活動主体が連携して地域のまちづくりに取り組むことが必要

(2) 生産年齢人口の減少による経済規模の縮小

＜現状・課題＞

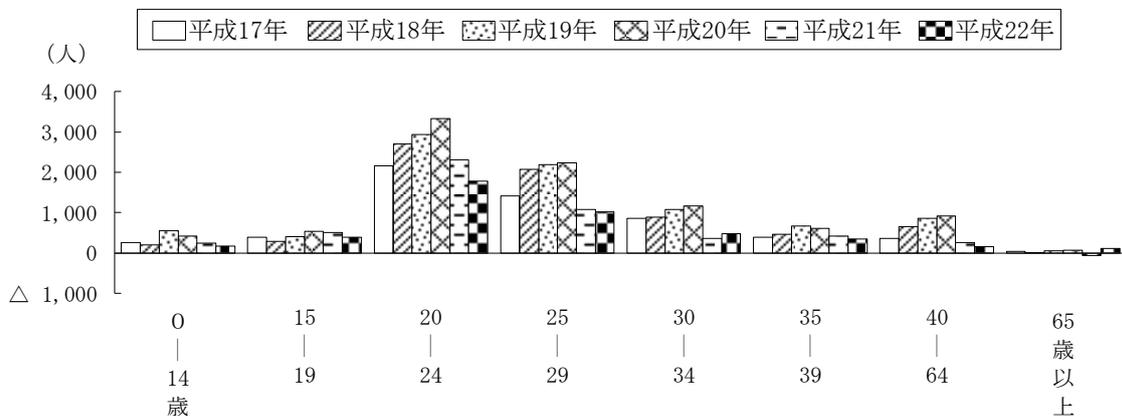
- 札幌の場合、経済活動を主に支える生産年齢人口と実質市内総生産には、強い相関関係
- 札幌の生産年齢人口が減少に転じた平成17年以降は、実質市内総生産も減少。今後も生産年齢人口の減少が予測されるとともに、卒業後に道外へ転出する若者が多い傾向が続けば、さらなる経済規模の縮小が懸念

生産年齢人口と実質市内総生産（平成9～21年度）



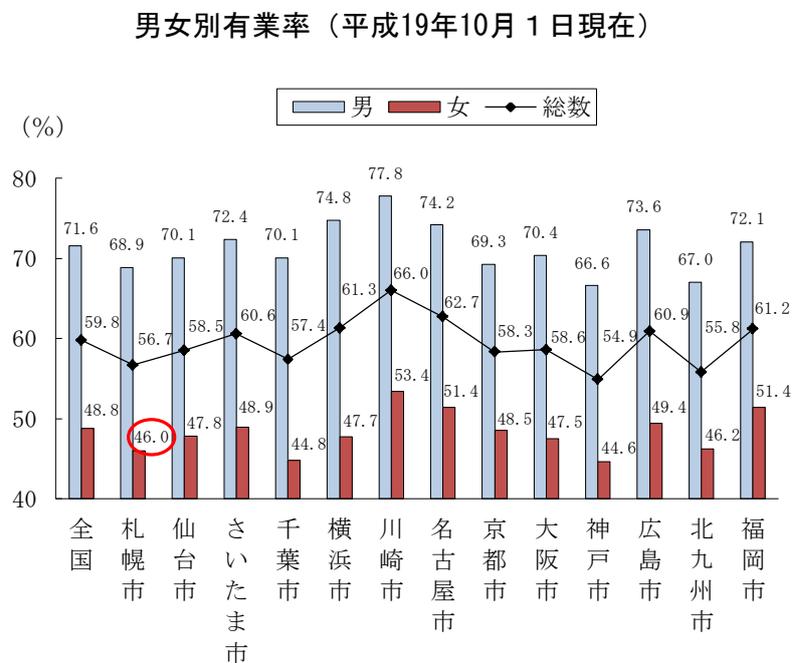
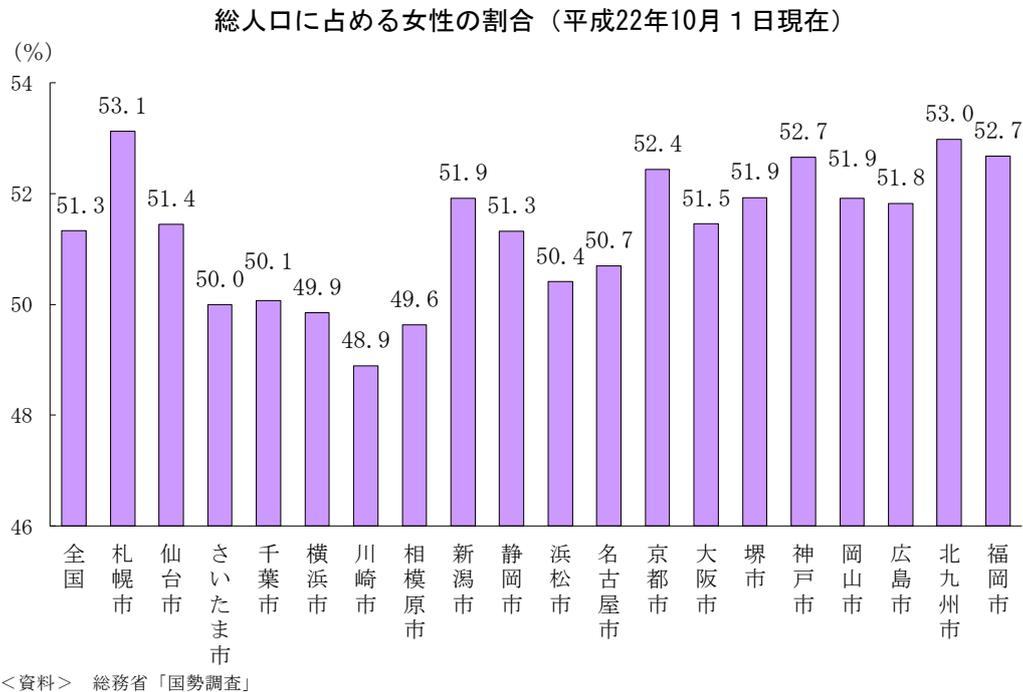
注：生産年齢人口は、住民基本台帳による各年10月1日現在の人口。  
 <資料> 札幌市

道外への転出超過数（平成17～22年）



注：住民基本台帳による。  
 <資料> 札幌市

- 札幌は総人口に占める女性の割合が高位。一方、女性の有業率は、政令指定都市比較でやや低位にあり、さらなる活躍が期待



### ＜取り組みの方向性＞

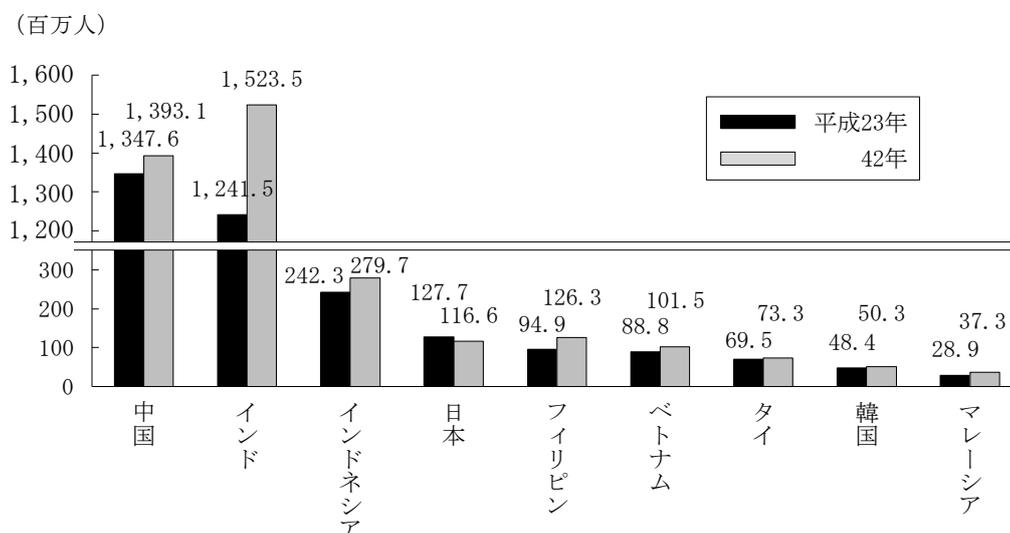
- 企業誘致、起業支援などにより市民の就業の場を確保し、若者の道外流出を防ぐことにより、生産年齢人口の減少幅を縮小
- 地場産業の付加価値向上により、市民一人当たりの所得を高める
- 女性ならではの視点を取り入れ、付加価値を向上させる取り組みや新たな市場の開拓などを展開
- 働く意欲のある女性や元気な高齢世代の就業・起業を促進するなど、札幌にある潜在的な力を経済の活性化に結び付けることも必要

### 3 グローバル化の進展

#### <現状・課題>

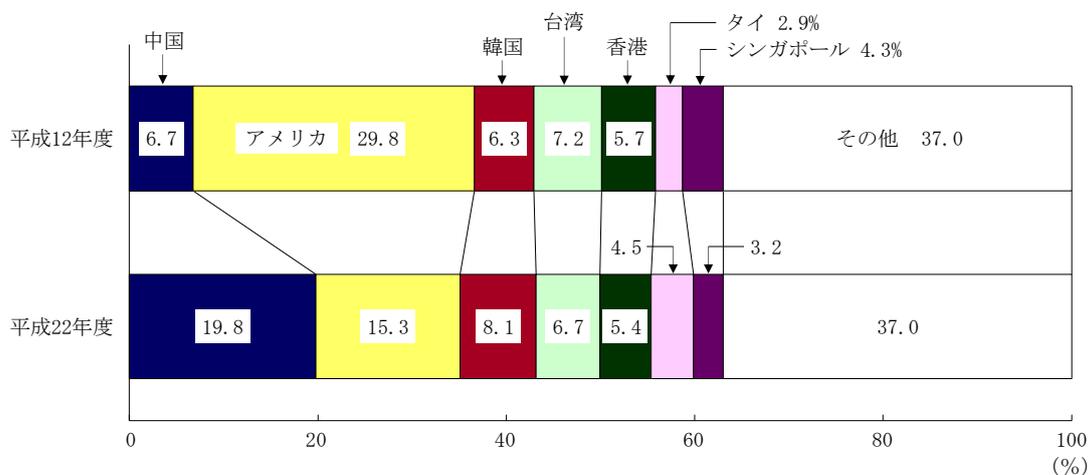
- 道内、国内の人口は減少傾向であるが、経済成長著しいアジア諸国では人口が増加。中でも中国、インド、インドネシアなどでは、さらなる人口増加やこれに伴う経済成長も見込まれ、今後も有望な市場として期待
- こうしたアジア諸国の経済成長を背景に、日本の貿易相手国は大きく変化。輸出全体に占めるアジア諸国の割合が上昇
- 札幌市においても、外国人観光客が近年増加。外国人宿泊者数は平成13年から平成22年までの10年間で、約3倍に増加。特にアジア諸国からの割合が9割近くを占める

アジアの人口（平成23、42年）



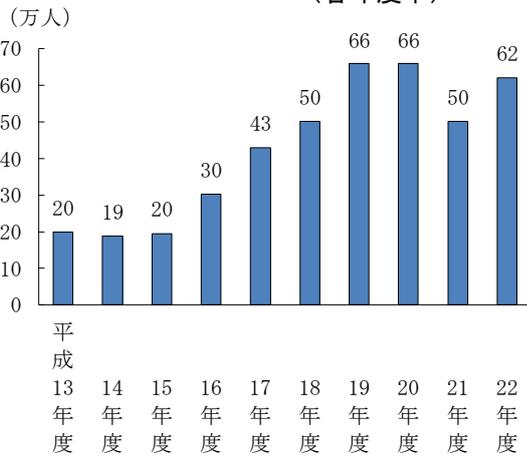
<資料> 総務省「世界の統計」

日本の輸出額における国・地域別割合（平成12、22年度）



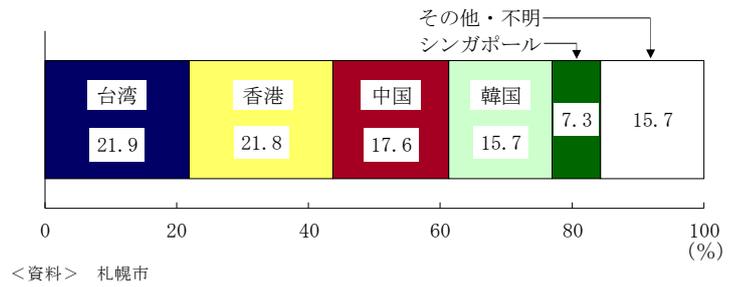
<資料> 財務省「貿易統計」

来札外国人の宿泊施設利用者数  
(各年度中)



<資料> 札幌市

外国人宿泊者数の国・地域別割合 (平成22年度)



<資料> 札幌市

### <取り組みの方向性>

- 人口減少が見込まれる札幌の経済規模の縮小を補うためには、成長著しいアジアの活力を最大限に取り込むことが重要。ターゲットとなる国や地域を定めるなど、戦略的な取り組みが必要

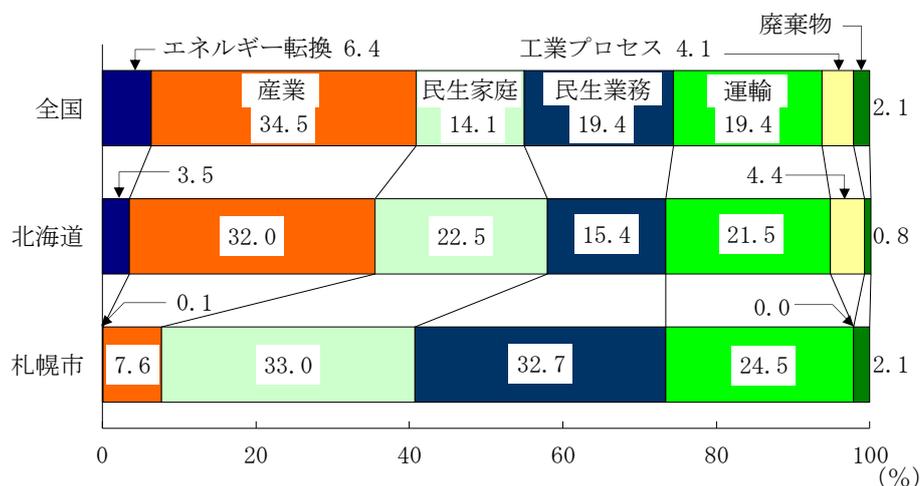
## 4 地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化

### <現状・課題>

#### 【温室効果ガス】

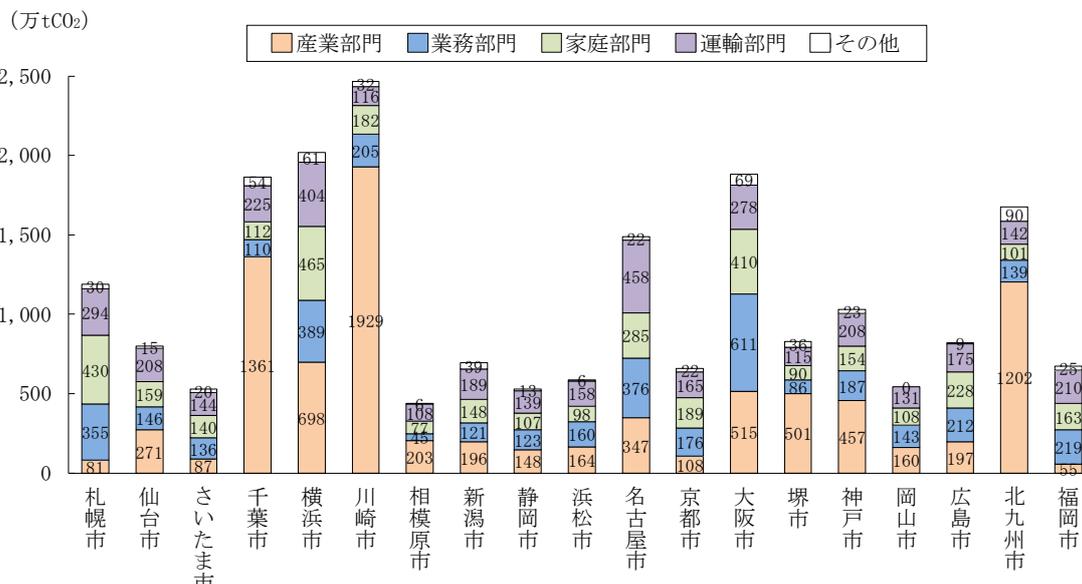
- 平成 21 年開催の主要国首脳会議（G8 サミット）では、先進国は 2050 年までに温室効果ガス排出量を 1990 年比で 80%以上削減する宣言。地球規模での温室効果ガス排出量の削減が必要
- 札幌市における二酸化炭素排出量の部門別の割合は、民生家庭部門 33.0%、民生業務部門 32.7%、運輸部門 24.5%と、この3部門で約 9 割。全国や北海道と比べて、これらの部門の比率が高いことが特徴（3部門の合計は、全国で 52.9%、北海道で 59.4%）
- 二酸化炭素の排出量は、政令指定都市の中<sup>\*1</sup>では7番目であるが、一人あたりの排出量を見ると、札幌は民生家庭部門でトップ。冬期間の暖房による二酸化炭素排出量の多さが影響

部門別二酸化炭素排出量割合（平成20年度）



<資料> 札幌市、環境省、北海道

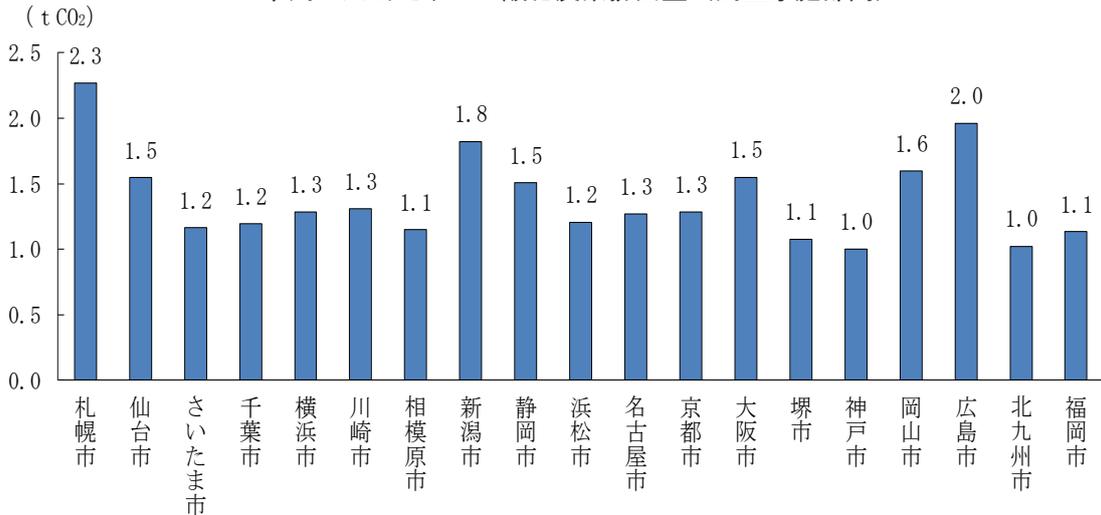
部門別二酸化炭素排出量



注：相模原市及び岡山市は平成18年度中、札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、新潟市、広島市及び北九州市は19年度中、さいたま市、川崎市、静岡市、浜松市、京都市、大阪市、堺市、神戸市及び福岡市は20年度中、名古屋市は20年中の数値であり、川崎市は速報値である。

<資料> 指定都市市長会

### 市民一人当たりの二酸化炭素排出量（民生家庭部門）

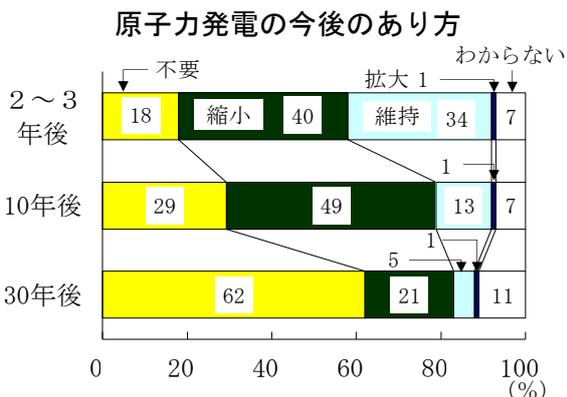


注：二酸化炭素排出量は、相模原市及び岡山市は平成18年度中、札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、新潟市、広島市及び北九州市は19年度中、さいたま市、川崎市、静岡市、浜松市、京都市、大阪市、堺市、神戸市及び福岡市は20年度中、名古屋市は20年中であり、川崎市は速報値である。人口は、各年10月1日現在の推計人口を使用した。

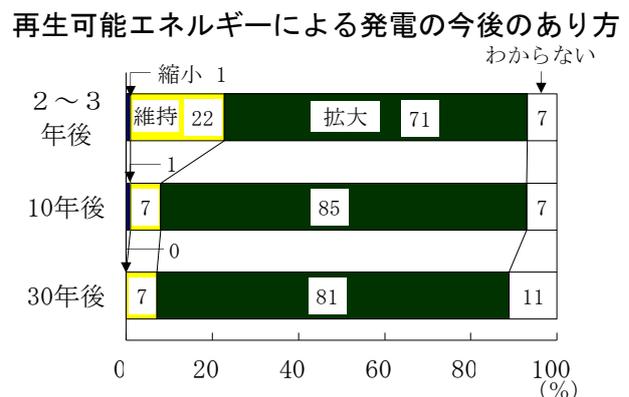
<資料> 札幌市、各政令指定都市、大都市統計協議会

### 【エネルギー】

- これまでの日本のエネルギー政策では、原子力発電が主要なエネルギー源と位置づけ。福島第一原発事故により、日本のエネルギー政策の在り方を根底から見直す動き
- 私たちの原子力発電に対する意識も大きく変化。市民意識調査（平成23年11月実施）でも、今後のエネルギーのあり方について、脱原子力発電依存と再生可能エネルギーの拡大を望む声が多い
- 札幌市議会においても、平成23年6月に「原発に頼らないエネルギー政策への転換を求める意見書」を全会派一致で可決し、国へ提出。脱原発依存社会の実現や再生可能エネルギーへの移行に向けて高まる気運



<資料> 札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

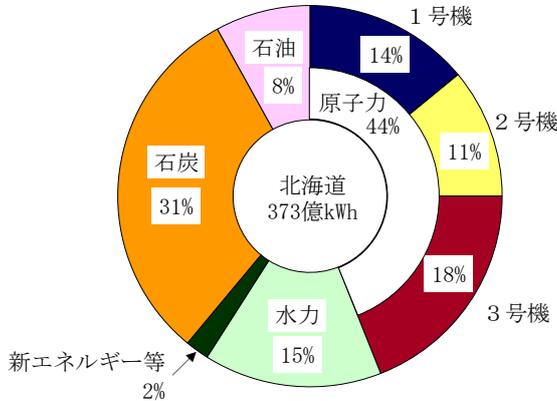


<資料> 札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

- 平成22年度（泊原子力発電所が停止する以前の時点）に道内で消費された年間電力量のうち、約44%（164億kWh）が泊原子力発電所で発電

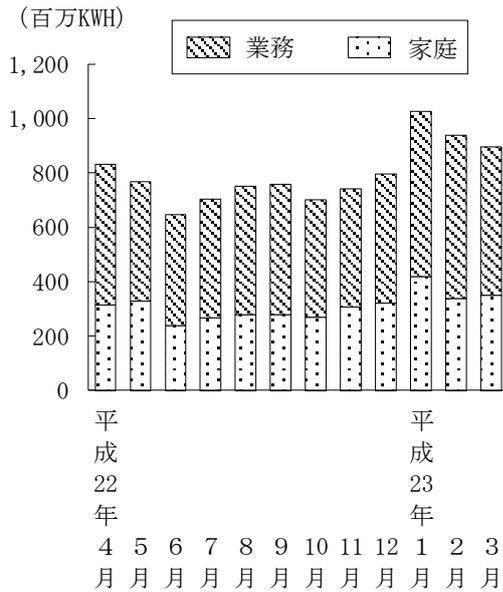
- 積雪寒冷地の札幌市では、暖房に代表される冬期間の電力使用量が比較的多く、エネルギー全般の需要に占める熱需要の割合が高いという特徴。これに対応した効率的なエネルギー利用が必要

北海道電力の電源別発電電力量（平成22年度）



<資料> 北海道電力株式会社

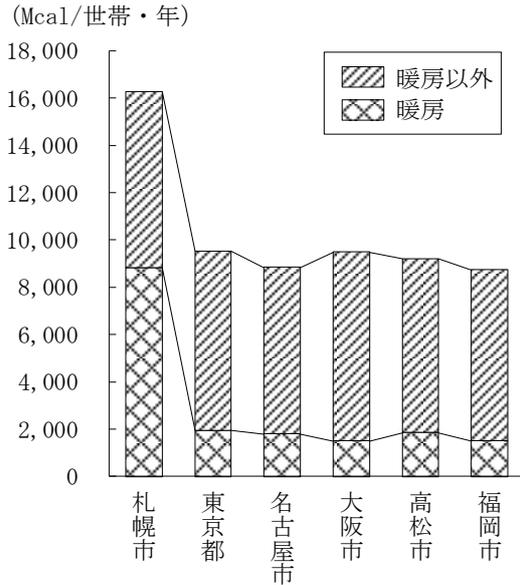
月別電力使用量（平成22年度）



注：札幌市内の数値である。

<資料> 北海道電力株式会社

家庭用エネルギー用途別消費原単位



<資料> 経済産業省「平成14年度民生部門エネルギー消費実態調査」

### <取り組みの方向性>

- 低炭素・脱原発依存社会の実現に向け、限りある資源の有効利用や、自分たちでエネルギーを生み出していく取り組みが重要。また、市民一人ひとりのライフスタイルの転換も必要

## 第2節 札幌や北海道の魅力・資源

### 1 札幌の魅力・強み

#### (1) 豊かな自然環境

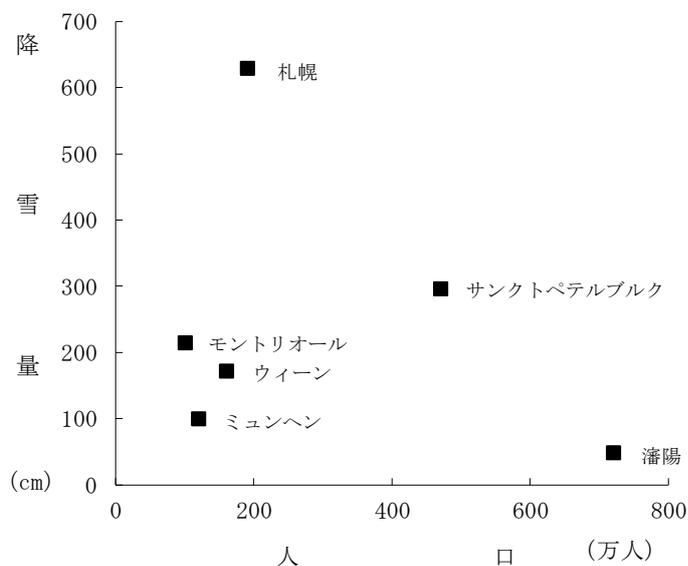
##### ① みどり豊かな自然

- 石狩平野の南西部に位置する札幌には、豊平川をはじめとする多くの河川が流れ、市街地の周囲には緑豊かな自然環境が存在
- 南西部は支笏洞爺国立公園に指定。森林が市域の60%を占め、市内には天然記念物の指定を受けている藻岩山原始林と円山原始林があり、約450種の豊かな植生が存在

##### ② 変化に富んだ気候

- 札幌は亜寒帯に属し、本州とは異なる植生による独特な景観を形成
- 気候は、夏は過ごしやすく爽やか、冬は積雪寒冷が特徴で、四季の変化が鮮明
- 100万人以上の人口を擁する世界の大都市の中で、年間6メートルもの降雪量

世界の都市の人口と降雪量

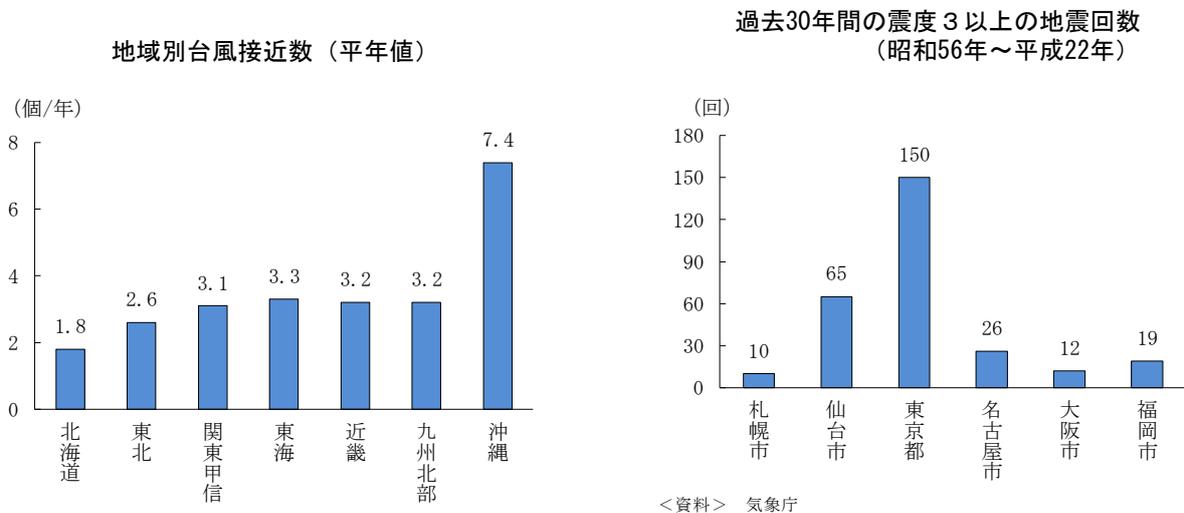


注：札幌の降雪量は1981年～2010年の30年間の平均。他の都市は、1985年～1990年までの5年間の平均。

<資料> 札幌市

## (2) 少ない自然災害

- 全国的に見ても台風の接近回数や地震の被害も少ないなど、自然災害のリスクが比較的 low、暮らしやすい環境



注：昭和56年から平成22年までの平均値である。  
<資料> 気象庁

## (3) 札幌に集積する都市機能

- 北海道庁、国の出先機関など、北海道内の行政機関が集積。北海道の約3割の事業所が立地し、道内企業の本社や全国企業の支社が多数立地
- 日本銀行・都市銀行の支店、地方銀行の本・支店など、北海道の金融機関や、テレビ・ラジオ局、雑誌社などメディアが集積、北海道の中核機能を果たす
- ヒトやモノ、情報が集まることから、北海道や札幌の情報を発信し、魅力を高めていく役割を発揮する力の所持

## (4) 札幌らしい文化、ライフスタイル

### 【冬の暮らし】

- 世界中から毎年多くの観光客が集まる一大イベントに成長した「さっぽろ雪まつり」をはじめ、雪や寒さを活用して冬の生活を楽しむ取り組みが多数存在
- 冬季オリンピックが開催された札幌には、ジャンプ競技場をはじめとするスポーツ施設が充実。オリンピック選手も多く輩出
- 小中学校の授業でスキーが行われるなど、子どもから大人までウィンタースポーツに親しむ環境が充実

### 【四季折々のイベント】

- YOSAKOIソーランまつり、大通公園のピアガーデン、さっぽろオータムフェスト、さっぽろホワイトイルミネーションなど、年間を通じて、市民も観光客も楽しめる多彩なイベントが開催。

## イベント来場者数

(単位 万人)

イ ベ ン ト	平成18年度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度
さっぽろライラックまつり	35	36	37	38	41	42
YOSAKOIソーラン祭り	186	216	202	179	218	200
さっぽろ夏まつり	233	199	221	215	179	201
さっぽろオータムフェスト	—	—	72	130	112	131
さっぽろ雪まつり	199	216	208	243	242	205

<資料> 札幌市

### 【文化・スポーツ機能の充実】

- 札幌芸術の森や札幌コンサートホール Kitara、モエシ沼公園をはじめとした文化芸術施設が集積。国際的な文化に触れることができる環境が存在
- 札幌ドームなどの大規模スポーツ施設が整備。野球やサッカー、バスケットボールなど、さまざまなプロスポーツの観戦が可能
- 自ら文化・スポーツを楽しみ、交流する環境も整備

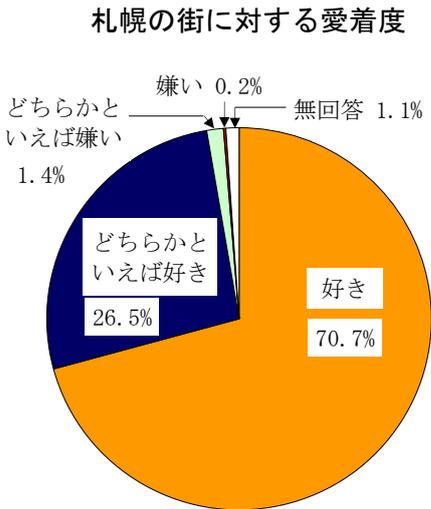
### (5) 北海道に住む札幌人の気質

- 札幌は、明治以降、先人が北海道の厳しい自然条件の中、海外の文化を積極的に受け入れ、幾多の困難を乗り越えてつくりあげてきたまち
- 多様な人や文化を受け入れる寛容な気質。既存の価値観にとらわれず、常に新しいモノを取り入れ、新しいコトに挑戦していく進取の気風

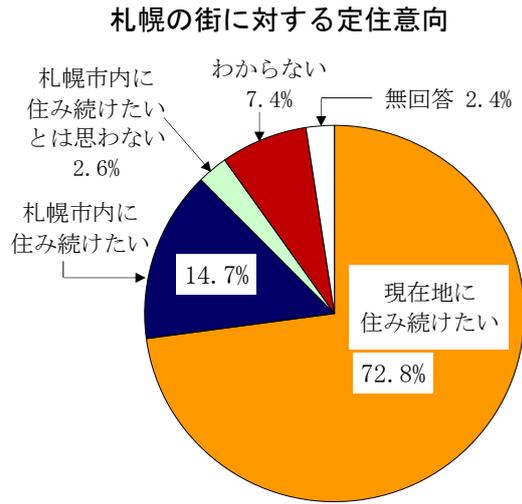
## 2 郷土意識と外から見た評価

### (1) 市民の愛着

- 平成23年度市政世論調査（郷土意識）の結果によると、市民の「札幌への好感度」は97.2%（「好き」と「どちらかといえば好き」の合計）と極めて高位
- 理由は「緑の多さ」「季節感」「公共交通機関が整備」「都市施設の充実」など
- 定住意向も87.5%（「現住地に住み続けたい」と「札幌市内に住み続けたい」の合計）と高く、市民の札幌に対する愛着度の高さが推察

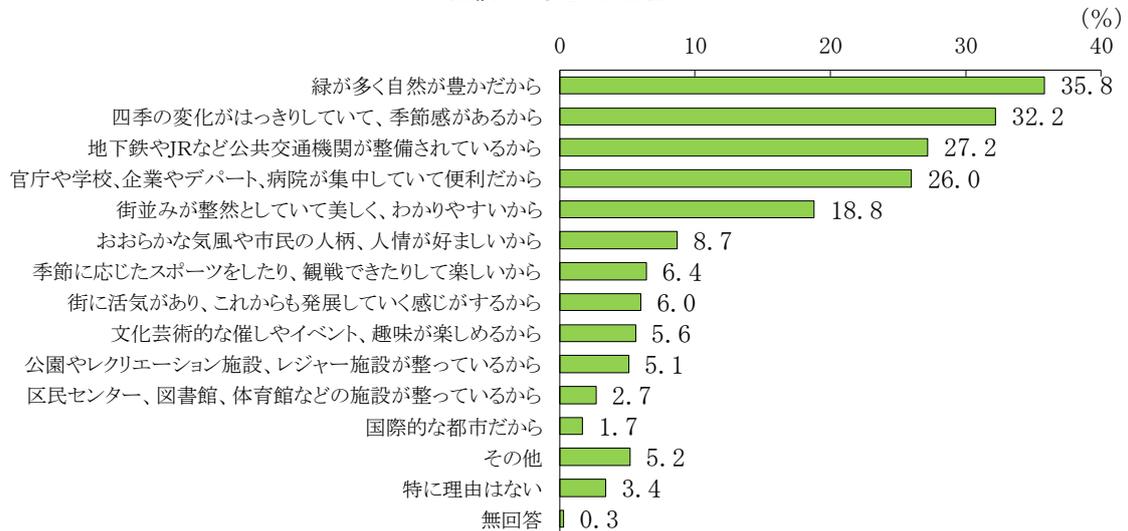


<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」



<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」

### 札幌が好きな理由



<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」

### (2) 外から見た札幌のブランドイメージ

- 民間調査機関の調査における魅力度ランキングで1位になるなど、全国から高い評価。特に、観光意欲や産品購入意欲（食品）に関する魅力度が高位

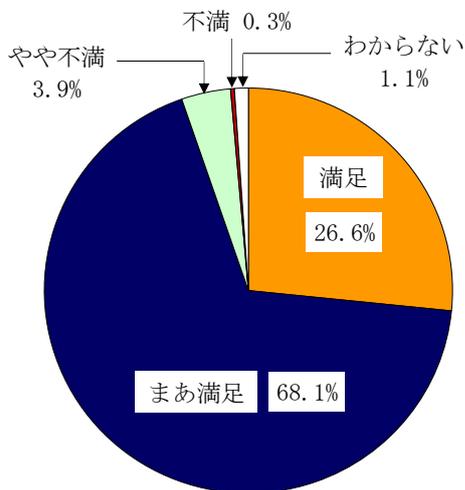
- 平成23年度来札観光客満足度調査によると、札幌を訪れた観光客の総合満足度は94.7%（「満足」と「まあ満足」の合計）と高く、食事や食べ物の満足度が高い。札幌のイメージについても、「観光スポット」「食」が特に多く、次が「祭り・イベント」
- 札幌は、市民に愛され、国内外の人たちが憧れる、魅力にあふれたまち

### 地域ブランド調査2012の結果

項目	1位	2位	3位	4位	5位
魅力度	<b>札幌市</b>	京都市	函館市	横浜市	神戸市
認知度	京都市	名古屋市	新宿区	大阪市	横浜市
情報接触度	気仙沼市	<b>札幌市</b>	大阪市	陸前高田市	石巻市
居留意欲度	神戸市	横浜市	<b>札幌市</b>	京都市	鎌倉市
観光意欲度	<b>札幌市</b>	京都市	函館市	石垣市	小樽市
訪問率	新宿区	品川区	横浜市	渋谷区	京都市
食品購入意欲度	<b>札幌市</b>	夕張市	名古屋市	函館市	仙台市
魅力度(都道府県)	<b>北海道</b>	京都府	沖縄県	東京都	奈良県
観光意欲度(都道府県)	<b>北海道</b>	京都府	沖縄県	奈良県	東京都

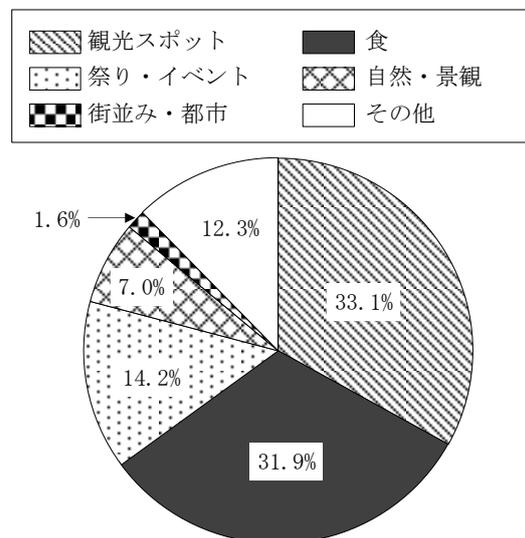
<資料> 株式会社ブランド総合研究所

### 観光地としての総合満足度



<資料> 札幌市「平成23年来札観光客満足度調査」

### 札幌のイメージ



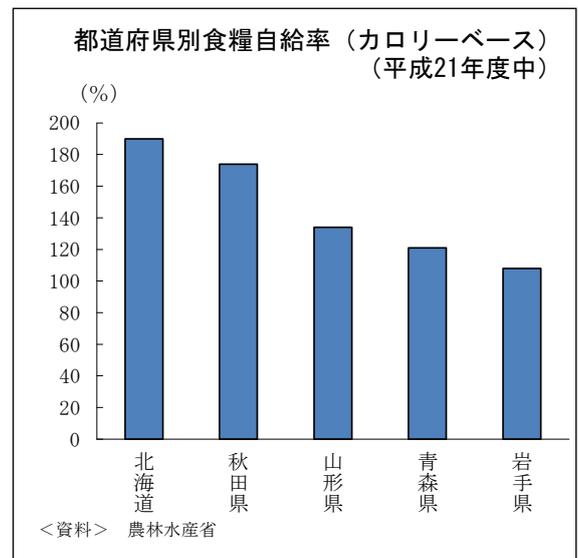
<資料> 札幌市「平成23年来札観光客満足度調査」

### 3 未来を切り開くために活用すべき北海道の資源

- 札幌の魅力は、豊かな自然や食など、その多くが北海道の魅力そのもの
- 札幌経済は北海道と密接不可分。北海道の発展なくして札幌の発展もない
- 北海道には世界に誇る優れた資源・特性があり、これらを生かして国家的課題、地球規模の課題に対応しうる優位性
- 札幌は、こうした北海道の資源を強みとして再認識し、自らのまちづくりにも生かす視点が必要

#### ① 北海道の食

- 2050年には世界の人口が91億人に到達見込み。食糧需給のひっ迫は地球規模の課題
- アジア地域の経済成長による所得上昇に伴う消費の成熟化と安全・健康志向の高まり、高付加価値の食料品や加工品需要が拡大
- 食が国際的にも戦略的資源になる可能性がある中、北海道は国内最大の食糧生産基地という強みを生かし、札幌はその付加価値を高める役割を担うことが必要



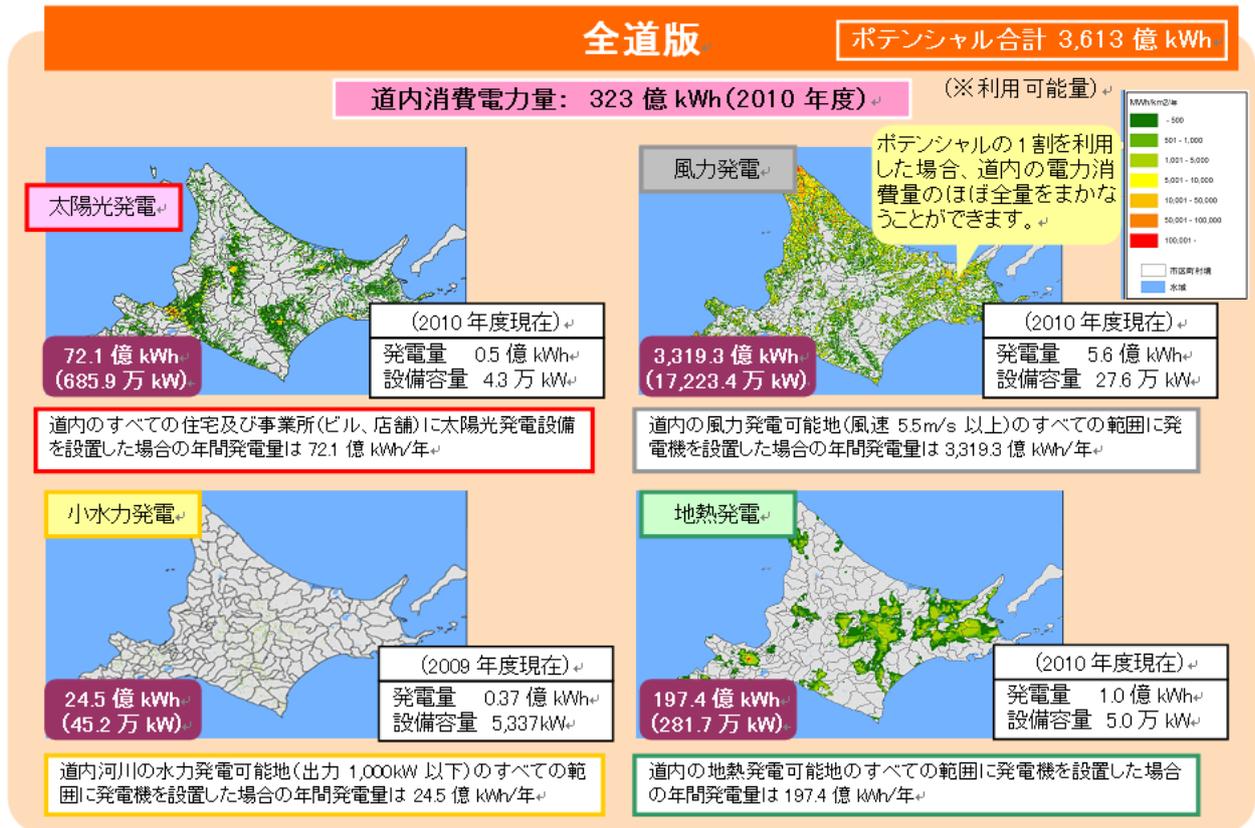
#### ② 北海道の自然

- 森林、火山、温泉、湿原など豊富な自然環境
- この自然環境と明瞭な気候特性が織りなす特徴的な景観や雪景色などが北欧的な雰囲気醸し出し、アジアの人たちの憧れ、観光客を誘引
- 豊富で質の高い水資源があり、道民の生活や産業を支える貴重な財産。今後も、その重要性は高まっていく

#### ③ 北海道に豊富に賦存する再生可能エネルギー

- 道内には太陽光、風力、地熱、小水力などさまざまな再生可能エネルギーが賦存
- 森林の間伐材や農業生産過程で発生する廃棄物など、バイオマスエネルギーが活用可能
- 脱原発依存社会実現のため、エネルギーの一大消費地である札幌は、こうした北海道全域でのエネルギー活用の可能性を強みと捉え、効果的に取り組んでいく視野が求められる

再生可能エネルギーのポテンシャル



(出典) 札幌地域における持続可能なエネルギー利用調査業務報告書

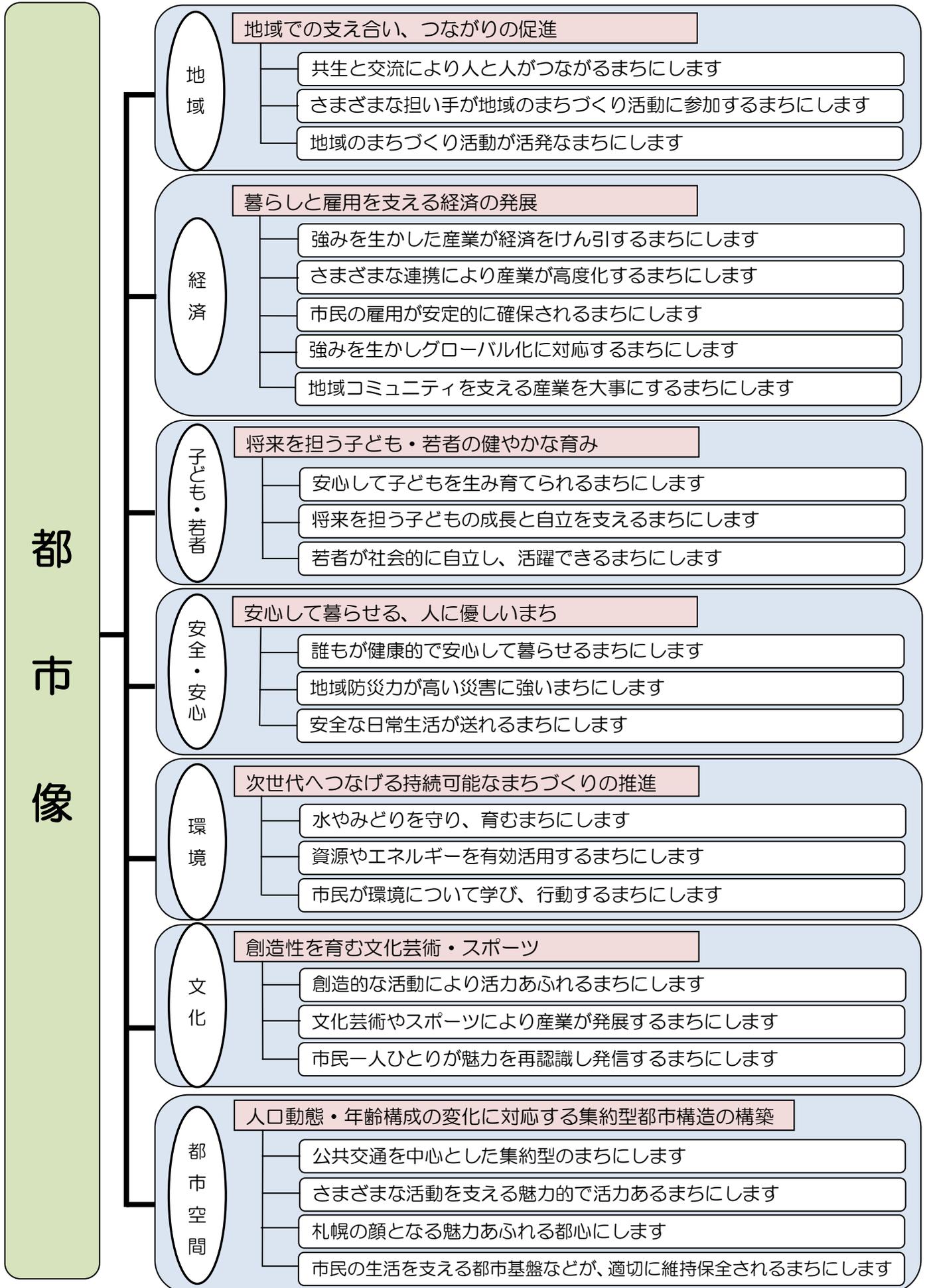
審議会にて検討中

## 第4章 まちづくりの基本目標

- 「目指すべき都市像」を実現するためには、私たちが具体的な目標を共有し、その目標に向かって連携しながら課題に取り組んでいくことが必要
- この章では、まちづくりの分野を7つに分け、その分野ごとに「現状と課題」を整理。今後の取り組みを展開する際の「重要な視点」を掲げた上で、まちづくりに関する「基本目標」を設定
- さらに、今後のまちづくりの方向性を具体的にイメージし、同じ方向で取り組んでいくために、基本目標ごとに「将来のまちの姿」を示すとともに、それを実現するための各主体の「取り組み」を明記

【7つの分野】

【7つの重要な視点と24の基本目標】



## 第1節 地域 ～つながりと支え合い～

### <現状と課題>

市民の意識や生活様式の変化、価値観の多様化などにより、地域における課題が複雑・多様化しており、これまでの取り組みだけでは解決が難しくなっています。

今後は、住民同士の支え合いや助け合いが地域課題の解決に重要な役割を担うことが期待されており、そのためには地域のつながりを深めることにより、町内会などの地域コミュニティを活性化していく必要があります。

また、ボランティアやNPO、企業などによる社会貢献活動も広がってきており、これらの多様な活動主体間の連携による地域課題の解決が求められます。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### —地域での支え合い、つながりづくりの促進—

地域の支え合いを実現するためには、世代や性別、国籍、文化の違い、障がいの有無などにかかわらず、地域の人々がお互いを認め合いながら、社会参加や交流を通じてつながりを深めていくことが重要となります。また、市民一人ひとりをはじめ、町内会、NPO、企業などが、地域課題を自らの問題と考える主体的に活動し、お互いに連携しながらネットワークを構築していく必要があります。

このような取り組みにより、さまざまな地域課題を解決する地域力を向上させ、住民同士が支え合いながら暮らしていけるまちづくりを進める必要があります。

#### 基本目標の設定

#### 基本目標

- 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします
- 2 さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします
- 3 地域のまちづくり活動が活発なまちにします

## 基本目標

### 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 地域では、多世代による多様な交流などを通じて住民同士のつながりが深まり、世代の違いや障がいの有無にかかわらず、支え合いにより自立した生活を送っています。また、誰もが自らの持てる能力を十分に発揮して、積極的に社会参加しています。
- 男女がお互いを尊重し、責任を分かち合う男女共同参画社会が実現され、男女が共に協力しながら、まちづくり活動をはじめとしたさまざまな分野で活動しています。
- 地域における多文化共生の意識が醸成され、さまざまな国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらず、お互いを認め合い、地域の構成員として支え合いながら生活しています。
- 身近な地域に市民の居場所や交流の場があり、市民が集い、そこでの交流やつながりを通じて地域のコミュニティが活性化しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
【市民】 <ul style="list-style-type: none"><li>• 住民同士の交流や支え合い活動への参加</li><li>• 高齢者や障がい児・者への理解</li><li>• 外国人やさまざまな歴史・文化への理解</li><li>• 人権に対する理解</li></ul> 【町内会・NPO・企業等】 <ul style="list-style-type: none"><li>• 住民同士による交流や支え合い活動の推進</li><li>• 地域における多文化共生の推進</li></ul> など	<ul style="list-style-type: none"><li>• 多世代交流などの推進</li><li>• 障がい児・者への市民理解の促進</li><li>• 男女共同参画社会に対する市民理解の促進</li><li>• 国際理解を深める取り組みの推進</li><li>• 多様な価値観に対応する人権教育の充実</li><li>• アイヌ民族の歴史・文化への市民理解の促進</li><li>• 市民の居場所づくりへの支援</li></ul>

## 基本目標

## 2 さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加する まちにします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ 子どもや若者、高齢者も含めた市民が、さまざまな学びの機会を活用しながら、それぞれが持つ能力や経験を生かし、自分に合った形で主体的にまちづくり活動に参加しています。また、まちづくり活動の担い手が育ち、さまざまな場面で活躍しています。
- ▶ 町内会をはじめ、NPO、商店街、企業など、多様な活動主体がさまざまな地域課題の解決に取り組んでいます。
- ▶ ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスなど、ビジネスの手法を活用して地域課題を解決する活動も活発に行われています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・町内会活動をはじめとしたまちづくり活動への参加</li><li>・生涯学習などを通じた自己啓発</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・それぞれの特性を生かした地域課題解決に向けた取り組みの推進</li></ul> <p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・CSR活動を通じた地域課題解決への支援</li><li>・ビジネス的な手法による地域課題の解決に向けた取り組みの推進</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民がまちづくり活動に参加できる環境づくり</li><li>・市民の自発的な生涯学習の促進</li><li>・学びとまちづくり活動の実践が繰り返し行われるしくみづくり</li><li>・町内会、商店街、NPO、企業、教育機関など、さまざまな主体が地域課題の解決に取り組める環境づくり</li><li>・市民や企業によるまちづくり活動を支える寄附文化の醸成</li><li>・ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの振興</li></ul>

## 基本目標

### 3 地域のまちづくり活動が活発なまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 地域ごとに年齢や世帯構成、居住形態など特徴の違いが顕著になり、地域課題が複雑・多様化している中、これらの課題は市民や地域の団体、企業などによる自主的な活動や行政による支援を通じて解決されています。
- 地域のまちづくり活動の中核を担っている町内会への加入が進み、地域コミュニティが活性化しています。
- 地域のまちづくり活動を実践するさまざまな主体が、お互いに連携し、相乗効果を生みながら活発に活動しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・町内会への加入</li><li>・町内会活動をはじめとしたまちづくり活動への参加</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・まちづくり活動を通じた担い手の育成</li><li>・他の団体、企業、行政などとの積極的な連携</li></ul> <p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域のまちづくり活動への参加</li><li>・町内会、NPO、行政などとの積極的な連携</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・福祉や防災、防犯など、地域ごとの特徴や課題を踏まえた施策の展開</li><li>・町内会など地域のまちづくり活動団体の活性化の支援</li><li>・地域のまちづくりに関する情報提供</li><li>・区役所、まちづくりセンターにおける地域ニーズの的確な把握、迅速に対応できる体制づくり</li><li>・活動主体間の連携を促進するためのネットワークづくり、コーディネート機能の強化</li></ul>

## 第2節 経済 ～暮らしと雇用を支える～

### <現状と課題>

産業の活性化は、都市の活力を高めるとともに、安定的な雇用を創出し、地域のさまざまな課題を解決するなど、社会の持続可能な発展を支える重要な役割を担っており、市民の安心な暮らしを実現する上で欠くことのできないものです。

このため、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化の進展など、札幌を取り巻く社会経済情勢の変化に対応できる足腰の強い経済基盤を確立させることが必要となっています。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### －暮らしと雇用を支える経済の発展－

経済の発展と安定的な雇用の確保のためには、札幌の経済をけん引する産業分野を明確に定め、積極的な振興を図ることが重要であります。また、創造性や地域特性を生かした付加価値の創出やグローバル化への対応などにより、産業全般の活性化を図り、ひいては市内企業の競争力を高めることが必要です。さらに、地域コミュニティを支える産業を活性化することが求められています。

#### 基本目標の設定

#### 基本目標

- 4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします
- 5 さまざまな連携により産業が高度化するまちにします
- 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします
- 7 強みを生かしグローバル化に対応するまちにします
- 8 地域コミュニティを支える産業を大事にするまちにします

## 基本目標

### 4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ 地域の強みや時代の潮流をとらえ、食、観光、環境、健康・福祉の4つの重点産業分野やそれに関連するさまざまな産業が一体となって札幌の経済成長をけん引しています。その中でも、食と観光が先導的な産業分野となっています。
- ▶ 本来の製造業にバイオ産業、IT産業、コンテンツ産業を加えた「札幌型ものづくり産業」が根付き、他分野との連携により新たなビジネスが生まれています。
- ▶ 札幌の企業の大半を構成している中小企業の活動が活性化し、裾野の広い経済基盤が確立しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 中小企業の健全な発展への協力</li><li>• 地産地消の実践</li></ul> <p>【企業、大学・研究機関等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 他産業との連携による付加価値の向上</li><li>• 共同研究による製品開発や付加価値の向上 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 食、観光、環境、健康・福祉の4つの産業分野の重点的な振興</li><li>• 道産食品の付加価値を高める6次産業化や都市型農業の推進などによる食関連産業の活性化</li><li>• 広域連携による観光振興やMICEの推進、戦略的なシティプロモート活動などによる観光関連産業の活性化</li><li>• 札幌型ものづくり産業の振興</li><li>• 中小企業の積極的な経済活動を促進するための支援</li></ul>

## 基本目標

### 5 さまざまな連携により産業が高度化するまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 産・学・官の連携や同業種・異業種間の連携などにより、創造性を発揮したさまざまなイノベーションが起きています。
- 道外から多くの技術革新分野の企業が進出し、札幌市とその周辺に集積しています。これにより取引関係が広がるとともに、地場産業の付加価値が向上するなど、札幌圏を含めた北海道全体の産業の競争力が高まっています。
- 空港、港湾、高速道路、新幹線などの広域的な交通ネットワークを効果的に活用し、道内外との人や物の流れが活発化しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 道内外の企業などとの積極的な交流</li><li>• 新たな技術や製品の開発への挑戦</li><li>• 他産業などとの連携による技術革新や新市場開拓</li><li>• 新事業や新分野への事業展開</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新たな技術や製品の開発に向けた産・学・官連携の促進</li><li>• さまざまな産業における創造的なイノベーションの誘発の媒介となる IT 産業やコンテンツ産業などの振興</li><li>• 起業の促進</li><li>• 近隣自治体と連携した技術革新分野の企業などの誘致と地場企業との連携促進</li><li>• 広域的な交通ネットワークの充実</li><li>• 道内外の自治体と連携した広域的な産業振興策の展開</li></ul>

## 基本目標

## 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 雇用の受け皿となる中小企業の経営基盤の強化や雇用創出力の高い企業の進出、さらには求職者へのさまざまな就業支援などにより、市民の雇用が安定的に確保されています。
- 誰もがそれぞれの能力を生かして働くことで、自立して暮らしています。その中でも、働く意欲を持つ女性が地域経済を支える担い手として活躍しています。
- 市民や企業の間でワーク・ライフ・バランスの考え方が浸透し、実践されています。これにより、多くの企業では、優秀な人材が確保され、従業員一人ひとりの生産性が向上するなど、企業の質が高まり、競争力が強化されています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<b>【市民】</b> ・ 職業能力の向上や自己啓発、職業訓練への主体的な参加 ・ 起業への挑戦 ・ ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践 <b>【企業等】</b> ・ 市民の能力を生かす積極的な雇用 ・ ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり	・ 求職者の技能向上のための支援 ・ 雇用のミスマッチ解消や起業への支援 ・ 雇用創出力の高い企業の誘致 ・ 働く意欲のある障がい者、高齢者、女性などへの就業支援 ・ 子育て支援の充実 ・ 女性への起業支援などの充実 ・ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市民理解の促進や企業への支援

## 基本目標

### 7 強みを生かしグローバル化に対応するまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ 札幌・北海道の強みを生かし、アジアをはじめとする経済成長の著しい地域からの観光客の増加やこのような地域への販路の拡大などにより、多くの外貨を獲得しています。
- ▶ 外国企業の進出により、新たな雇用や地場企業へのさまざまな波及効果が生まれています。
- ▶ 企業ではグローバル化に対応できる国際的な視野を持った人材が活躍しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 外国人やさまざまな歴史・文化への理解</li><li>• 留学などの海外経験</li><li>• 外国人観光客などへのおもてなしの実践</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 積極的な海外事業の展開</li><li>• グローバル化に対応できる人材の育成と活用 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 流通ネットワークの強化</li><li>• コンテンツなどを活用した戦略的なシティプロモート活動の推進</li><li>• 外国企業の誘致のための施策の検討・推進</li><li>• 観光客の受入環境の整備</li><li>• 国際交流や国際理解教育などによる国際的な視野を持った人材の育成</li><li>• 国際的な視野を持った人材の確保</li></ul>

## 基本目標

### 8 地域コミュニティを支える産業を大事にするまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ 地域の身近な利便性を確保する「歩いて暮らせるまちづくり」の一翼を担う商店街が活性化し、地域の賑わいを生み出しています。
- ▶ ビジネスの手法を活用して地域課題の解決を実践するソーシャルビジネスやコミュニティビジネスが活発化し、地域コミュニティを支える産業としての役割を果たしています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域のさまざまな活動への積極的な参加</li><li>• 地域の商店街活動への理解と協力、店舗の利用</li></ul> <p>【企業・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 商店街への加入</li><li>• 商店街活動への積極的な参加</li><li>• 地域課題の解決に向けた地域との積極的な連携</li></ul> <p>【商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域課題の解決に向けた地域との積極的な連携</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 商店街活性化に向けたさまざまな取り組みに対する支援</li><li>• ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの起業支援</li><li>• 地域とコミュニティビジネスの連携促進</li></ul>

### 第3節 子ども・若者 ～健やかな育み～

#### <現状と課題>

全国的に少子化が進む中、札幌市の合計特殊出生率は大都市の中でも極めて低い水準で推移しており、社会の活力に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

少子化の背景としては、子育て家庭の孤立化などによる子育てへの不安や負担感が増大していることが要因の一つとして考えられます。また、子どもや若者の成長過程の中では、いじめや虐待、不登校、引きこもりなどといった問題も生じています。

こうしたことから、社会全体が協力して子どもの成長を支え、困難を有する若者の自立や社会参加を支援するとともに、誰もが子どもを生き育てやすい環境を整えていく必要があります。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### ー将来を担う子ども・若者の健やかな育みー

「子どもを生き育てやすい」まちづくりを進めるためには、子どもの権利の尊重のもと、社会全体で子育て・子育て支援を推進し、子育てへの不安や負担の軽減を図るとともに、子どもの成長過程でのさまざまな問題に対応していく必要があります。

また、すべての子どもたちに生きる力を培い、豊かな創造力を育む充実した教育の推進や、社会性を育む実践的な学びの機会を充実させていくことが重要です。

さらに、若者すべての社会的自立を実現するとともに、主体的に地域社会へ参画する取り組みなども進め、将来の札幌を担う人材を育成していく必要があります。

#### 基本目標の設定

#### 基本目標

9 安心して子どもを生き育てられるまちにします

10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

11 若者が社会的に自立し、活躍できるまちにします

## 基本目標

### 9 安心して子どもを産み育てられるまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 地域の団体や企業、NPO、行政によるさまざまな支援を通じて、安心して子育てができる環境が整っています。
- ワーク・ライフ・バランスの考え方が社会全体に浸透し、男性も女性も仕事と生活の調和を図り、働きながら子育てができる環境が整っています。
- 多様なニーズに対応したさまざまな保育サービスが提供され、子どもが小学校に入学した後の放課後児童対策などの支援体制も整っています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・男女の協力による子育て</li><li>・さまざまな子育て支援活動への参加</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子育てサロンの開催など子育て支援活動の推進</li><li>・ニーズに即した子育て支援サービスの提供</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり</li><li>・ニーズに即した子育て支援サービスの提供</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・母子保健の充実など妊娠期から出産、幼児期、思春期まで、子どもの成長過程に応じた支援</li><li>・子育て家庭の孤立防止に向けた相談・支援体制の充実</li><li>・地域住民が子育て支援活動に参加しやすいしくみづくり</li><li>・地域の団体や企業、NPO等との連携・協力による子育て支援活動の推進</li><li>・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市民理解の促進や企業への支援などの推進</li><li>・さまざまな保育サービスの提供</li><li>・放課後の児童の居場所づくり</li></ul>

## 基本目標

### 10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 子どもたちは、一人ひとりの個性や特性を伸ばす充実した教育を受けることを通じて、生きる力を高め、豊かな創造力を身に付けながら成長しています。
- 家庭・地域・学校の連携による多様な体験活動などを通じて、子どもたちは自立した社会性のある大人へと成長しています。
- いじめや不登校、児童虐待などを未然に防ぐ環境が整っています。
- 配慮や支援を要する子どもは、充実した相談支援体制などのもと、個別の状況に応じて適切な支援を受けることができます。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利への理解</li> <li>・さまざまな子育て支援活動への参加</li> </ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での体験活動などへの協力・実施</li> <li>・学校教育との連携</li> </ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習などへの協力</li> <li>・ボランティア活動への支援</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利の理解促進</li> <li>・一人ひとりの個性や特性を伸ばす教育の充実</li> <li>・障がいのある子どもの自立と社会参加に向けた教育的支援</li> <li>・家庭・地域・学校の連携による体験活動などの推進</li> <li>・市民が子育て支援活動に参加しやすいしくみづくり</li> <li>・いじめ、不登校、児童虐待などを未然に防止するための家庭や地域、関係機関との連携強化</li> <li>・配慮や支援を要する子どもへの個別の状況に応じた適切な相談・支援体制の充実</li> <li>・家庭での養育が難しい子どもへの養育環境・自立支援体制の充実・強化</li> <li>・少子化に伴う児童生徒数の減少に対応した学校の統合など、子どもの社会性などをより一層育むための教育環境の維持・向上</li> </ul>

## 基本目標

### 11 若者が社会的に自立し、活躍できるまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- すべての若者が社会的に自立できるよう、教育機関や企業、地域、行政などの連携・協力のもと、充実した相談支援体制が整っています。
- 地域や企業等と大学などとの連携により、学生に実践的な学びの場が提供されています。
- 若者の雇用が確保され、起業を支援する制度も充実するなど、働きやすい環境が整っています。
- 多くの若者が、さまざまなまちづくりに主体的に参加して、地域課題の解決に向けた力を発揮しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 大学と地域が連携した取り組みなどへの参加</li><li>• 職業能力の向上や自己啓発</li><li>• 起業への挑戦</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域での体験活動などへの協力・実施</li><li>• 大学など教育機関との連携</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 職業体験などへの協力</li><li>• 大学など教育機関との連携</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ニートや引きこもりなどへの国や道、支援機関と連携した相談・支援体制の充実</li><li>• 大学などの教育機関と地域との連携促進</li><li>• 地域や企業との連携・協力による子どもの頃からの社会体験や職業体験などの推進</li><li>• 若者の就業や起業への支援</li><li>• 若者の地域社会への参画の促進</li></ul>

## 第4節 安全・安心 ～人に優しいまち～

### <現状と課題>

高齢化の急速な進行によって、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯が増え、支援や介護を必要とする市民が増加しています。また、ニーズの複雑・多様化により、ライフステージに応じた一貫した支援が求められており、必要なサービスが適切に受けられる環境づくりが重要です。加えて、住民同士の支え合いや助け合いも求められています。

さらに、東日本大震災の教訓から、大規模な災害が発生した際には、市民・企業・行政の役割分担による相互連携の取り組みの重要性があらためて認識されており、それぞれが自らの役割を意識しながら災害に備えていくことが求められます。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### —安心して暮らせる、人に優しいまち—

地域における住民同士の見守り・支え合いや、市民の主体的な健康づくりなどを通じて、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めていく必要があります。また、多様化する福祉ニーズに対応した「きれめ」や「すきま」のないサービスや、安心できる医療体制の充実などを図っていくことが重要です。

そして、万が一の災害に備え、自分の身は自分で守る「自助」、地域でお互いが助け合う「共助」、行政による消防・救助活動などの「公助」の役割をそれぞれが認識し、主体的に防災活動に取り組む「防災協働社会」を構築していく必要があります。

#### 基本目標の設定

#### 基本目標

12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

13 地域防災力が高い災害に強いまちにします

14 安全な日常生活が送れるまちにします

## 基本目標

## 12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 一人暮らしの高齢者の増加などに対応した見守り活動や、支援を要する市民への相談・支援体制の充実などを通じて、誰もが安心して暮らしています。
- 在宅医療や身近なかかりつけ医の普及促進などにより、地域と医療の結びつきが強まっており、医療相談体制や救急医療体制も充実され、市民の安心を支えています。
- 支援を要する高齢者や障がいのある方の安心な生活が実現できるよう、適切なサービスを提供する環境が整っています。
- 高齢者や障がいのある方など、さまざまなニーズに合った住まいが安定的に確保されています。
- 市民の主体的な健康づくり活動が活発に行われ、高齢になっても健やかに暮らすことができます。
- 食の安全が守られ、暮らしに身近な施設などで衛生水準の維持・向上が図られています。また、人とペットが良い関係で共存しています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動などへの参加</li> <li>・高齢者、障がい児・者への理解</li> <li>・自主的な健康づくり活動</li> <li>・食の安全に対する意識の向上</li> <li>・ペットの飼い方に関するマナーの向上</li> </ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動の推進</li> <li>・地域の健康づくり活動の推進</li> </ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに即した保健福祉サービスの提供</li> <li>・障がい者の雇用の推進</li> <li>・食の安全に関する取り組み</li> <li>・衛生管理に関する取り組み</li> <li>・食育活動への協力</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療・福祉のネットワーク強化</li> <li>・支援を必要とする市民への相談・支援体制強化</li> <li>・医療相談体制や救急医療体制の充実</li> <li>・地域と医療の連携強化の推進</li> <li>・介護保険施設などのサービス基盤整備</li> <li>・障がい児・者のニーズやライフステージに対応した支援体制の充実、サービス提供基盤整備</li> <li>・住まいに関する情報提供の充実</li> <li>・市民の健康づくり活動の推進</li> <li>・食育環境の整備、活動の推進</li> <li>・心の健康づくりに向けた相談・支援体制の充実</li> <li>・食の安全への市民や企業と連携した取り組み</li> <li>・動物愛護精神と適正飼育に関する市民理解の促進</li> </ul>

## 基本目標

### 13 地域防災力が高い災害に強いまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ 子どもの頃から継続した防火・防災教育や、市民・地域による自主的な防災訓練などを通じて、災害発生時に主体的に行動できる体制が整っており、地域の防災力が高まっています。
- ▶ 避難場所となる公共施設や上下水道、橋りょうのほか、民間施設も含めた都市全体の耐震化などが進んでおり、自然災害による被害を最小化させる取り組みが進んでいます。
- ▶ 災害時要援護者である子どもや高齢者、障がいのある方、外国人なども、災害発生時に円滑に避難できるような、細かな配慮がなされています。
- ▶ 万が一の災害発生に備え、防災関係機関や企業、道内のほかの自治体との連携を通じて、大規模災害にも対応可能な防災力が確立しています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練など自主防災活動への参加</li><li>・自宅の防災対策の実施</li><li>・家庭内備蓄の推進</li></ul> <p>【町内会等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自主防災組織の結成</li><li>・防災訓練など自主防災活動の推進</li><li>・災害時要援護者の避難支援体制の整備</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練など自主防災活動の推進</li><li>・民間建築物の耐震化の促進</li><li>・企業内備蓄の推進</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもに対する防火・防災教育の充実</li><li>・市民、自主防災組織などとの連携・協力による防災の取組の推進</li><li>・防災リーダー養成などを通じた自主防災組織の活性化</li><li>・災害時におけるライフラインの確保、地域の交通を確保するネットワークの充実</li><li>・公共施設、上下水道、橋りょうなどの耐震化の推進</li><li>・災害に関する積極的な情報提供</li><li>・迅速な災害復旧対策を行う体制の強化</li><li>・緊急生活物資の確保など支援体制の充実</li><li>・災害時要援護者に対する避難支援の充実</li><li>・防災関係機関、他市町村との連携による災害時の広域的な医療、援護、生活支援の体制の充実</li></ul>

## 基本目標

## 14 安全な日常生活が送れるまちにします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ 犯罪や消費生活に関するトラブルを防止する取り組みなどを通じて、市民の安全な暮らしを守る環境が整っています。
- ▶ 交通ルールの順守や自転車マナーの理解の促進によって、交通事故の少ない安全で安心な交通環境が実現しています。
- ▶ 都市生活型公害と言われる、自動車排出ガスによる大気汚染や騒音、悪臭などについて、適切な対策や市民への情報提供などを通じて、安心が確保されています。
- ▶ 公共交通機関の駅とその周辺エリアや公共施設などでは、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでおり、誰もが安全で快適に移動できる空間が整備されています。
- ▶ 雪対策に関して、市民・企業・行政の連携による冬の市民生活ルールの共有化や、効果的で効率的な除排雪などを通じて、雪と共存した豊かな暮らしが実現しています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<b>【市民】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 交通ルールなどの理解・順守</li><li>• 地域防犯活動や交通安全運動への参加</li><li>• 雪対策に関する理解・協力</li></ul> <b>【町内会・NPO等】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域防犯活動や交通安全運動の推進</li><li>• 雪対策に関する懇談会などへの参加・協力</li></ul> <b>【企業等】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域防犯活動や交通安全運動への支援</li><li>• 安全確保のための自主的な取り組み など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 都市生活型公害などの防止に向けた事業者への指導強化、市民への的確な情報提供</li><li>• 公共施設などのバリアフリー化の推進</li><li>• 事故危険箇所の解消や自転車マナーの理解促進などの交通安全対策の推進</li><li>• 地域防犯の取り組みの推進</li><li>• 配偶者などからの暴力（DV）への対策の充実</li><li>• 消費者問題への対策の充実</li><li>• 市民や企業との連携・協力による雪対策の推進</li></ul>

## 第5節 環境 ～次代へ引き継ぐ～

### <現状と課題>

近年の環境問題は複雑・多様化しており、その対応に当たっては、自然環境の保全やエネルギー利用の見直し、環境負荷の少ないまちづくりなど多角的な取り組みが求められています。

また、札幌の財産である豊かなみどりは、その総量が減少傾向にあるため、市民・企業・地域・行政の連携・協力により、今あるみどりを守るとともに、新たに創出していくことが求められています。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### 一次世代へつなげる持続可能なまちづくりの推進

複雑・多様化する環境問題に対応するため、市民・企業・行政が一丸となって、みどりの保全・創出やごみの減量・資源化など、環境の保全・創造に関する取り組みを引き続き進める必要があります。

また、再生可能エネルギーの活用などに関する研究・開発・普及やエネルギー利用のあり方に関する市民意識の醸成を図ることにより、社会全体でエネルギー利用の在り方を考えながら、低炭素社会を構築していくことが必要です。

そして、市民が環境の保全・創造について学び、実践する環境づくりを進めることにより、札幌が持つ四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に引き継ぎ、より良い環境を創造する持続可能な都市「環境首都・札幌」を構築していくことが重要です。

#### 基本目標の設定

##### 基本目標

15 水やみどりを守り、育むまちにします

16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

17 市民が環境について学び、行動するまちにします

## 基本目標

### 15 水やみどりを守り、育むまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ▶ まちにうるおいや安らぎを与え、地球環境に大切なみどりをみんなで守り育てる取り組みによって、森林や農地、民有地の緑地などのみどりが保全・創出され、みどり豊かで住み心地の良いまちが形成されています。
- ▶ 市民にうるおいと安らぎを与えるだけでなく、すべての生物にとっても欠かすことができない水については、水質や水量だけでなく、生物と生息環境、水辺とのふれあいといった水環境全体が守られています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自宅の庭を含めた地域のオープンスペースの緑化など、みどりを守り育てる地域活動への参加</li><li>・河川周辺の清掃活動への参加</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・みどりの保全・創出の活動への参加</li><li>・みどりに関する活動や情報発信、市民などへのアドバイス</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・所有地やその周辺などの緑化の推進</li><li>・森づくりへの参加・支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・街路樹、公園など、公有地のみどりの保全・創出</li><li>・市民・企業・地域との連携・協力による森林や農地、民有地の緑地などの保全・創出</li><li>・市民・企業・地域との連携による水源の保全や水環境への負荷を低減する取り組みの推進</li></ul>

## 基本目標

## 16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- ごみの減量、リサイクルや再利用が積極的に行われており、資源循環型の社会が構築されています。
- 省エネルギー技術、再生可能エネルギー、既存資源の活用技術については、IT 技術などとも連動しながら、その利用が進んでいます。
- 特にエネルギー消費の大きい都心部を中心に、効率的なエネルギー利用が図られています。
- 札幌の特徴である積雪寒冷地や民生部門からの二酸化炭素の排出量が多いことを踏まえ、これに対応したエネルギー消費を抑えた市民のライフスタイルが定着しています。
- 自動車の低炭素化が進むとともに、自動車利用に過度に依存しない、公共交通機関が積極的に利用される社会となっています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ごみ減量、分別、リサイクルの実践</li><li>• 使い捨て製品の使用抑制</li><li>• エネルギー消費を抑えたライフスタイルの実践</li><li>• 積極的な省エネ家電・新エネ機器・次世代自動車への買い換え</li><li>• エコドライブの実践</li><li>• 公共交通機関の積極的な利用</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域における積極的な環境美化活動の推進</li><li>• 集団資源回収の実施など、地域におけるごみ減量・リサイクル活動の推進</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ごみの減量、分別、リサイクルの実践</li><li>• 積極的な省エネ、新エネ設備の導入や環境負荷の低減に配慮した事業活動の実践</li><li>• 環境配慮型製品の積極的な開発や製造の推進</li><li>• 環境保全に関する新技術の開発・普及 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ごみの減量やリサイクル、再利用の取り組みの促進</li><li>• ごみの適切な処理の推進</li><li>• 企業や研究機関などとの連携による次世代エネルギーシステムに関する研究・開発・普及の促進</li><li>• 環境関連産業の振興</li><li>• エネルギー消費を抑えた市民生活・企業活動の促進</li><li>• 環境に配慮した自動車の普及促進</li><li>• 公共交通機関の利用促進</li></ul>

## 基本目標

### 17 市民が環境について学び、行動するまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 市民、企業は、地球温暖化や生物多様性などへの問題意識を持ち、環境の保全・創造のために自ら考え行動しています。
- 子どもたちは、地域の自然を生かした取り組みや資源を大切にする取り組みなど、日常生活に根ざした学習活動を通して、世界や身の回りの環境問題に関心を持っています。また、市民や企業などは、ふるさと札幌の美しい自然・環境を守り育てる意識を持ちながら、持続可能なまちづくりに主体的に取り組んでいます。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 環境保全活動への積極的な参加</li><li>• 環境学習などを通じた自己啓発</li><li>• 生物多様性に関する理解</li><li>• 子ども達への学習機会の積極的な提供</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域における環境保全活動の実践を通じた市民への理解促進</li></ul> <p>【企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 町内会、NPO、行政などと積極的に連携した環境保全活動の実践</li><li>• 企業内の研修などによる環境保全の意識の向上</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 学校と円山動物園や青少年科学館といった環境体験施設との連携強化の取り組みなどを通じた環境教育の充実</li><li>• 市民、企業の主体的な行動につなげるための環境の保全・創造に関する理解促進と人材の育成</li><li>• 子どもたちが、自然・環境を守り育てる意識を醸成する機会づくり・場づくりの整備</li></ul>

## 第6節 文化 ～創造性を育む～

### <現状と課題>

札幌には、世界的に評価の高い文化芸術、スポーツに関する施設やイベントが多数あり、市民の創造性を育む基盤が整っています。また、文化芸術・スポーツは人々に感動を与え、その感動は人々を刺激し、新たな行動を起こすきっかけをつくっています。そして、その行動が新たなコト、モノを生み出す創造的な活動へとつながっています。

社会経済情勢が大きく変化する中で、札幌・北海道の資源を有効に活用し、まちの魅力効果を効果的に伝えることにより、北海道全体の地域振興や産業振興などに結び付け、市民生活を豊かなものとしていく取り組みが求められています。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### ー創造性を育む文化芸術・スポーツー

札幌には市民が身近に文化芸術やスポーツに親しめる環境が整っています。こうした文化芸術やスポーツなどを通じて育まれる創造性を地域の活性化や産業の発展に結び付け、まちの活力を維持、向上させていくことが重要です。

また、年間 6mもの雪が降る特徴的な風土や歴史がつくりだしてきた独自の文化やライフスタイルに代表される札幌の魅力を市民一人ひとりが再認識し、自らが誇りを持って発信していく必要があります。

#### 基本目標の設定

#### 基本目標

18 創造的な活動により活力あふれるまちにします

19 文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします

20 市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします

## 基本目標

### 18 創造的な活動により活力あふれるまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 文化芸術やスポーツが、市民に感動や刺激を与え、市民の感性や創造性を育むことで、生活を豊かなものになっています。
- 子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、見るだけではなく、自ら文化芸術やスポーツを楽しむことで、充実した生活を送っています。
- 文化芸術やスポーツからつくりだされた人と人との交流がまちづくりに発展し、地域の活性化へとつながっています。
- 世界の中でも稀に見るほどの降雪量が多い大都市である札幌は、独自の冬の文化を形成しており、厳しい冬の生活環境の中でも雪を楽しむことのできる魅力あるイベントやウィンタースポーツなどがまちに活力を与えています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
【市民】 ・文化芸術の鑑賞・参加やスポーツの観戦・参加 ・札幌の魅力である雪を楽しむ 【企業等】 ・地域の文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力 など	・文化芸術やスポーツを生かしたまちづくりの推進 ・まちの魅力を高める雪の活用 ・市民や札幌を訪れる人々が雪を楽しむための新たなイベントやウィンタースポーツの推進 ・高齢者や障がい者も文化芸術やスポーツに気軽に参加できる機会や環境づくり

## 基本目標

### 19 文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 多くの人を集める文化芸術やスポーツが、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などのさまざまな分野で生かされています。
- 文化芸術やスポーツが、観光や食の産業分野などと結びつくことで新たな付加価値を生み、健康・福祉分野などではスポーツを活用した新たな産業が生まれています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
【市民】 ・文化芸術の鑑賞・参加やスポーツの観戦・参加 【企業等】 ・文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力 ・文化芸術やスポーツの積極的な活用 など	・集客力のある文化芸術やスポーツの振興と戦略的な活用 ・プロスポーツの観光分野への活用促進 ・国際的な芸術祭の定期的な開催 ・メディアアートなどの活用による創造的な産業の振興 ・スポーツと健康・福祉分野などとの連携促進

## 基本目標

## 20 市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 雄大な北海道の中の札幌は、四季折々の豊かな自然と快適な都市機能を備えており、そこに暮らす人、そこを訪れる人を刺激し、創造性を育んでいます。  
こうした恵まれた環境の中で、市民が生活、文化、産業などのさまざまな分野で創造力を発揮し、札幌のまちがさらに魅力を高めています。
- 札幌らしいライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人ひとりが再認識し、自ら誇りを持って多様な手段により国内外に発信し、世界の人々とのさまざまな交流をつくりだしています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
【市民、企業等】 ・札幌の強みや魅力を活かし・楽しむライフスタイルの確立 ・札幌の魅力や豊かなライフスタイルの積極的な発信 など	・戦略的なシティプロモートの推進 ・文化芸術やスポーツを活用した活発な人的交流の促進 ・魅力的な景観に配慮したまちづくりの推進 ・歴史や文化、観光など札幌の魅力に関する情報の収集・発信

## 第7節 都市空間 ～魅力と活力のある都市空間～

### ＜現状と課題＞

札幌市の都市づくりは、これまでは人口増加に伴う市街地の拡大に対応してきましたが、今後は、人口減少・超高齢社会の到来を迎えるなど、大きな転換期を迎えます。

そのため、今後の都市づくりでは、これまでの量的な対応から、都市の魅力と活力を高めるための質的な向上に向けて、市民のニーズをとらえながら、きめ細かく対応していくことが求められます。

また、さまざまな都市サービスを担っている公共施設や都市基盤が、次々と更新時期を迎えるにあたり、適切な更新・再構築への対応が求められています。

#### 現状と課題を踏まえた重要な視点

##### —人口動態・年齢構成の変化に対応する集約型都市構造の構築—

人口減少・超高齢社会の中でも安心・快適な暮らしを確保していくためには、地下鉄などの公共交通網を軸に土地利用の高度化を図り、都心や地下鉄駅周辺などに都市機能を集積することにより、車を運転しなくても便利に生活することができる集約型都市づくりを進め、エネルギー効率の良い持続可能な都市の構築が必要です。

道内外や海外からも多くの人々が訪れる魅力・活力ある都市へと成長していくためには、札幌市の顔である都心部の魅力と活力を高めるまちづくりが特に重要です。

市民にとって生活にやすらぎやうるおいを与える住み心地の良いまちであるためには、自然と調和したみどり豊かな都市空間の創出と、街なみと調和した市街地の良好な景観形成が必要です。

これからも安全・快適な都市サービスを提供していくためには、上下水道など都市基盤施設の計画的かつ効率的な維持保全の実施とあわせて、一斉に更新時期を迎えつつある公共建築物の効果的・効率的な配置などが求められます。

#### 基本目標の設定

#### 基本目標

21 公共交通を中心とした集約型のまちにします

22 札幌の顔となる魅力あふれる都心にします

23 都市の価値を高める、自然と調和したまちにします

24 市民の生活を支える都市基盤などが、適切に維持保全されるまちにします

## 基本目標

### 21 公共交通を中心とした集約型のまちにします

#### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 都心や地下鉄駅周辺などに、多様な都市機能が集積された集約型都市構造が構築されています。
- 都心周辺部や地下鉄沿線など利便性の高い地域には多くの市民が住み、また、公共交通機関を積極的に利用することなどにより、都市活動による環境負荷が軽減されたエネルギー効率の良い集約型の都市が形成されています。
- 一方で、郊外の住宅地では、札幌らしい、ゆとりのある良好な環境を生かした暮らしが実現しています。
- 郊外の住宅地でも、日用品の買い物の場など、日常生活に欠かせない機能は身近な範囲で利用できるとともに、その他の生活に必要な機能は、地下鉄駅周辺などに集積していることにより、車を運転しなくても困らない暮らしが実現しています。
- 公共交通をみんなで支える意識が醸成されるとともに、利用者の利便性向上が図られることにより、公共交通を主な移動手段とする生活が実現しています。
- 過度な自動車利用を控え、かきこく自動車を利用するとともに、道路ネットワークの維持・充実が図られることで、安全で快適に利用できる交通環境が実現しています。
- 観光や物流の面で北海道経済の活性化にも貢献する、高速道路と都心のアクセス性強化や北海道新幹線など広域的な交通ネットワークの整備が進められています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

#### 行政が取り組むこと

##### 【市民】

- ・公共交通の積極的な利用
- ・まちづくり活動への参加

##### 【町内会・NPO等】

- ・公共交通利用促進への協力
- ・地域課題の解決に向けたまちづくり活動の推進

##### 【企業】

- ・市街地の質の向上に資する建築や開発の実施など

- ・適切な土地利用計画制度などの運用
- ・公共交通の利便性向上や利用促進のための市民意識の醸成
- ・安全で快適に利用できる道路ネットワークの維持・充実
- ・北海道新幹線延伸など広域的な交通ネットワークの整備
- ・さまざまなまちづくり活動の支援やコーディネート
- ・地域ごとの課題やニーズに対応した機能や施設配置のあり方の検討

## 基本目標

## 22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします

### 基本目標で目指す将来のまちの姿

- 市民をはじめ、道内外や海外からも多くの人々が訪れる都心には、高次な都市機能の集積が図られるとともに、多くの人が集い多様な活動を支える場など、人を中心とした魅力ある空間が形成されています。
- これらの空間も活用しながら、創造的な活動の発信・担い手の育成など、文化と活力を創造する取り組みが進められています。
- みどりの保全・創出により、みどり豊かな、風格や活力が感じられるまちづくりが進められています。
- 環境低負荷型のエネルギー利用の促進などにより、環境にやさしいまちづくりが進められています。
- 地域が主体となったまちづくりの推進により、それぞれの特性に応じた良好な環境が形成され、地域価値の維持・向上が図られています。
- 都心は、札幌はもとより北海道の中心としての役割を果たしながら、国内外に札幌の魅力を発信し続けるとともに、市民生活の豊かさを享受できる場が創出されています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民・町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり活動への積極的な参加</li> <li>・まちづくり活動への提言</li> </ul> <p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり計画の策定における協働的参画や活動への主体的な参加</li> <li>・まちづくりに必要な支援や専門的知識・技術の提供</li> <li>・市街地の質の向上や良好な都市景観の創出に資するまちづくり計画に基づいた魅力ある空間整備の実施</li> <li>・環境負荷低減に資する取り組みの実施</li> <li>・従業員などのまちづくり活動への積極的参加の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心のまちづくりに関する計画などの策定・推進</li> <li>・適切な土地利用計画制度などの運用</li> <li>・まちづくり計画に基づき、市街地の質の向上に資する魅力ある空間整備の誘導</li> <li>・地域が主体となったまちづくり活動への支援</li> <li>・市民・企業などとの連携・コーディネートにより、環境低負荷型のまちづくりの推進</li> </ul>

## 基本目標

## 23 都市の価値を高める、自然と調和したまちにします

### 基本目標で目指す将来まちの姿

- ▶ 都心を含む市街地には、都市にやすらぎやうるおいを与えるみどりや良好な空間といったオープンスペースが民有地にも確保され、隣接する建物と一体となった都市の活動の場になるとともに、街並みとも調和した良好な都市景観が創出されています。
- ▶ 市街地の外（市街化調整区域）では、良好な森林や農地などの保全が図られているとともに、その特質を生かした土地利用が行われています。

### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自宅の庭を含めた地域のオープンスペースの緑化など、みどりを守り育てる地域活動への参加</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・みどりの保全・創出の活動への参加</li><li>・みどりに関する活動や情報発信、市民などへのアドバイス</li></ul> <p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市街地の質の向上や良好な都市景観の創出に資する地域特性に応じた魅力ある空間整備の実施</li><li>・所有地やその周辺などの緑化の推進</li><li>・環境保全に関する新技術の開発・普及</li></ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市街地の質の向上や良好な都市景観の創出に資する地域特性に応じた魅力ある空間整備の誘導</li><li>・街路樹、公園など、公有地のみどりの保全・創出</li><li>・市民・企業・地域との連携・協力による森林や農地、民有地の緑地などの保全・創出</li></ul>

## 基本目標

### 24 市民の生活を支える都市基盤などが適切に維持保全されるまちにします

#### 基本目標で目指す将来まちの姿

- 都市基盤などの計画的かつ効率的な維持・保全が進められるとともに、公共施設については、機能の複合化や効果的・効率的な再配置の実施などにより、人口減少・超高齢社会に対応した都市づくりが進められています。

#### 基本目標を実現するための取り組み

みんなで取り組むこと	行政が取り組むこと
<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市民意見の積極的な発信</li><li>・ 都市経営全般に対する理解</li></ul> <p>【町内会・NPO等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 住民への情報提供や意見交換の場づくり</li></ul> <p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域ニーズに応じた所有施設の活用や、サービス提供と地域・行政との連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 都市基盤の計画的かつ効率的な維持・保全の計画の策定・実施</li><li>・ 公共施設の建て替えなどに伴う機能の複合化や民間施設との連携などによる効果的かつ効率的な公共施設の配置の推進</li></ul>

## 第5章 ビジョンの推進に当たって

- この章では、まちづくり戦略ビジョンの推進にあたっての「基本理念」と、私たちが一体となってまちづくりに取り組む共通の「基本姿勢」を表す
- 私たちの生活や価値観が複雑・多様化する中で、経営資源の有効活用を図りながら、このビジョンを戦略的に推進するために必要となる「選択と集中」の考え方を示す

### 第1節 基本理念

- 私たちは、先人たちが幾多の苦難を乗り越え、築き上げてきた世界に誇る魅力的なこのまちを受け継いでいる
- 社会経済情勢が大きく変化しようとも、未来に向けてこのまちを良好な形で次世代に引き継いでいく責任を果たしていかなければならない
- まちづくり戦略ビジョンの推進にあたっての基本理念を以下のとおり掲げる

～ 札幌の未来をつなぐ子どもたちのために ～

- 私たちは、一人ひとりの生活、地域や企業での活動、環境との共生などまちづくりのあらゆる取り組みに当たって、常に札幌の明日をつくる子どもたちが、笑顔で生きいきと幸せに暮らす姿を思い描きながら、持続可能なまちづくりを進めていくことが何よりも重要
- 子どもたちを、ふるさと札幌・北海道の魅力を世界の人々に誇りを持って語ることができる大人に育てていくことが必要
- 責任あるまちづくりの担い手に成長した子どもたちが、また次の世代に、このまちの魅力を引き継いでいくことにより、世代間の良好な継承を実現

### 第2節 ビジョンの推進に当たっての基本姿勢

- 私たちが一体となってこのビジョンに取り組むために、共通してとるべき4つの基本姿勢を掲げる

#### 1 市民が主役のまちづくり

- 地域主権型社会を実現するためには、まちづくりの主役である市民自らが、主体的に参加することが求められる
- 私たちは、自分たちの地域のことは、自分たちで考え、自分たちの力で解決する市民自治のまちづくりを進める

(1) 市民一人ひとりの参加

- 私たち一人ひとりの行動が、深くまちづくりにつながっていることを認識。まちづくりや市政について関心を持ち、話し合い、主体的かつ積極的に参加

(2) 多様な主体によるネットワークの推進

- さまざまなまちづくりの主体が相互に連携。まちづくりの重層的なネットワークを広げ、社会全体で複雑・多様化する地域課題に対応

## 2 まちの活力を高める人づくり

- 札幌が今後とも魅力的なまちであり続けるためには、「人」がまちづくりの資源であり、新たな時代を担う推進力であると位置付け、それぞれの市民の個性と能力を伸ばしていくことが必要
- 私たちは、さまざまな場面において、市民一人ひとりが社会で活躍する力を養う人づくりを推進

(1) 札幌人を育てる

- 変化の早い時代に対応した進取性と柔軟な発想、行動力を併せ持ち、まちづくりを担い、さらには世界で活躍する未来の札幌人をみんなで育成

(2) 市民が活躍できる環境づくり

- 誰もが生きがいと役割を持ち、社会に参加できるようにするため、さまざまな立場の人たちの能力を引き出し、活躍できる環境を形成

(3) 未来を担う子どもたちへのまなざし

- 常に子どもたちに温かなまなざしを向け配慮
- 未来を担う子どもたちが札幌の将来について主体的に考え、学び、行動するための機会を提供

## 3 北海道と共に発展する札幌

- 札幌と北海道の発展は表裏一体の関係
- 私たちは、札幌の魅力や経済活動が、北海道の人口、自然、資源などに支えられたものであることを常に意識。札幌の発展は北海道と共にあることを踏まえ、札幌を含めた広域圏の中核都市、北海道の中心都市としての役割を果たす

(1) 北海道の資源と札幌の機能の連携による魅力向上

- 北海道が持つ豊かな資源と札幌が持つ都市機能やブランド力を結び付け、札幌や北海道の魅力を相乗的に向上

(2) 北海道の魅力や価値の認識と道内循環

- 札幌の市民や企業などが、北海道の魅力や価値を認識。道産品の消費や道内観光、道内企業との取引などを積極的に行い、道内の経済循環を向上

(3) 北海道の魅力の道外への発信

- 札幌が持つ北海道のショーケース機能を活用。北海道全体の魅力を札幌から道外に発信

#### 4 限りある資源の有効活用と共創

- 地球規模の環境問題への対応や高齢化の進行、さらには、次々と更新時期を迎える都市基盤などの維持・保全などにより、今後、社会的な費用が増大していくことが予想
- 行政と民間の役割分担や連携を十分考慮しながら、社会経済情勢の変化に対応し、効果的なまちづくりを進めていくことが重要
- 市民・企業・行政が一体となって、それぞれの知恵と工夫により、限りある資源を有効に活用し、相乗効果を発揮

(1) 官民の持つ力による共創の推進

- 市民・企業・行政がそれぞれの持てる力を発揮しながら、共創によって魅力と活力のあるまちづくりを推進

(2) 世代間の公平性に配慮した資源活用

- 未来を担う子どもたちに過度な負担を残さないため、世代間の負担の公平性を考慮し、将来を見据えた効率的な資源の活用

### 第3節 ビジョンの戦略的推進

- 札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化は、さまざまな分野において、これまで経験したことのないような影響を及ぼす
- これまでと同様の考え方やシステムの下では、解決することが困難な課題が、ますます顕在化していくと予測
- このような時代にあって、このビジョンを効果的に推進していくためには、時代の変化により市民生活に大きな影響を及ぼす課題を的確に見定めた上で、資源を集中的に投下するなど、「選択と集中」による戦略的にまちづくりを進めていくことが重要

## <今後、戦略的に取り組むべきテーマ>

- 第4章の基本目標の実現に取り組むに当たり、第2章における社会経済情勢の変化を踏まえ、今後10年間で最も大きなパラダイムの転換が必要となる以下の3つのテーマを選択し、集中的に施策を展開

### 【暮らし・コミュニティ】

- 超高齢社会の急速な進展による高齢単身世帯の増加やさまざまな要因による社会的孤立の顕在化が懸念されることなどを踏まえ、地域でのつながりや支え合いによる共助の意識を広く醸成し、さらに、それらを補完する仕組みづくりに取り組むことによって、いかに安心して暮らせる地域をつくり出していくか

### 【産業・活力】

- 今後想定される人口減少は、地域消費型の経済構造となっている札幌・北海道にとって、深刻な影響を与えることが懸念されることから、北海道経済全体の活性化も見据えた上で、札幌・北海道の魅力や強みを生かしつつ、新たな付加価値を創造することによって、いかに足腰の強い経済基盤を確立させていくか

### 【低炭素社会・エネルギー転換】

- 地球温暖化や東日本大震災による原子力発電所事故を踏まえ、今後は低炭素社会と脱原発依存社会を実現していくことが、先人が築きあげてきた札幌の財産を未来に引き継ぐためには重要であり、このために環境エネルギー政策をまちづくりの中核に位置付け、いかにエネルギーの大消費地としての責務を果たしていくか

- これらのテーマに沿った具体的な処方箋を次章の「戦略編」で設定
- なお、課題認識と戦略設定は、時代の変化に迅速に対応する必要があることから、適宜中間点検し、戦略の追加・補正を行うなど柔軟な対応が必要

## 4章 まちづくりの基本目標

◆ まちづくりの分野を7つに分け、各分野において「まちづくりの基本目標」を設定

- ① 「地域」～つながりと支え合い
- ② 「経済」～暮らしと雇用を支える～
- ③ 「子ども・若者」～健やかな育み～
- ④ 「安全・安心」～人に優しいまち～
- ⑤ 「環境」～次代へ引き継ぐ～
- ⑥ 「文化」～創造性を育む～
- ⑦ 「都市空間」～魅力と活力ある都市の形成～

## 2章 社会経済情勢の変化と札幌

◆ 札幌市を取り巻くさまざまな社会的課題が顕在化

- ① 「人口減少・少子高齢化」～社会的孤立の顕在化、郊外住宅地などにおける人口減少・高齢化
- ② 「産業基盤の脆弱性」～生産年齢人口と経済規模の相関性、グローバル化への対応
- ③ 「東日本大震災、原子力発電所事故」～脱原発依存の意識の高まり、二酸化炭素排出量の特異性

さまざまな分野からなる「基本目標」に、「社会経済情勢の変化」による  
フィルターをかけ、パラダイムの転換が求められる3つの方向性を「選択」

### 戦略編

#### 暮らし・コミュニティ

地域の衰退を防ぎ、  
コミュニティでの暮らしを  
豊かにしていく必要性

#### 産業・活力

厳しい経済状況を克服し、  
活力ある産業の創造により、  
都市を豊かにする必要性

#### 低炭素社会・I初ギ-転換

低炭素社会の実現や  
エネルギー政策の転換を  
都市として対応する必要性

